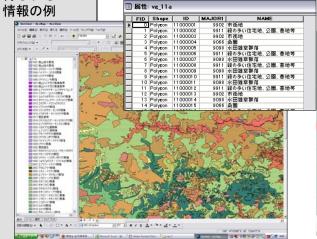
(2) 配慮書段階で収集可能な動物、植物及び生態系に関する既存資料

ここでは、4.2 地域特性の把握の表 4-1 と表 4-2 (P.35~38) で示した既存資料の概要として、各資料から得られる情報の内容や範囲、配慮書段階の検討における活用可能性等を掲載した。なお、これらの情報は適宜追加・更新されるため、その都度、新たな資料や最新版を確認して入手する必要がある。

自然環境保全基礎調査

機関	情報名	概要	情報の特徴				
環境省	自然環境保	全国的な観点から我が国における自然環境の現況	全国を網羅した				
	全基礎調査	及び改変状況を把握し、自然環境保全の施策を推進す	情報				
		るための基礎資料を整備するために、環境省が自然環					
		境保全法第4条の規定に基づき、1973年度から概ね5					
		年ごとに実施している調査である。一般に「緑の国勢					
		調査」と呼ばれ、陸域、陸水域、海域の各々の領域に					
		ついて国土全体の状況を調査している。					
調査目的	自然環境の)現況及び改変状況を把握し、自然環境保全施策推進の	基礎資料とするこ				
	とを目的とし	している。					
調査頻度	5年に一回程	度					
調査方法	アンケート調査、聞き取り調査、補完調査(現地調査等)						
情報内容	植生図、特定植物群落の分布、巨樹・巨木の分布、湿地の分布と生物相の情報、藻場・						
	干潟・サンゴ礁の分布等						
対象範囲	全国						
公開状況	・ 自然環境情報 GIS 提供システム(http://www.biodic.go.jp/trialSystem/top.html)						
	にて、GIS	[S 化した情報が公開されている					
	• 報告書及	び地図等も公表されている(http://www.biodic.go.jp/kiso/15/do_kiso					
	4. html)						
得られる							



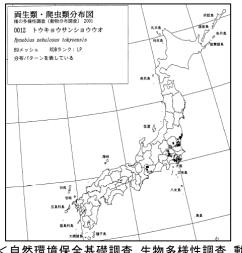


<自然環境情報 GIS データ (植生図) >

<自然環境情報 GIS データ(特定植物群落)>



<第6回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査 哺乳類分布調査報告書 2004年より>



< 自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物 分布調査報告書(両生類・爬虫類) 2001 年より>

配慮書段階で の活用可能性

全国を網羅しており、特に植生図は面的かつ基本的な情報である。

生物多様性地域戦略

₩ 日日	主 ±D ク	40T 7TG	性セクサル
機関	情報名	概要	情報の特徴
都道府県	生物多様性地	主に都道府県で定めた生物の多様性の保全及 び持続可能な利用に関する基本的な計画で、生物	地域計画
	域戦略	多様性基本法第 13 条により規定されている。ど	(どの自治体の計画は 間接の日
		の自治体の計画も概ね同様の目次構成である。	画も概ね同様の目
		「生物多様性の現状と課題」では、自治体の地	次構成である。)
		域毎の生物の生息・生育状況の特長の記述があ	
		る。	
		「生物多様性の保全及び維持可能なための取	
		組み」では、「自然公園、自然保全地域、天然記	
		念物、保安林、鳥獣保護区」等の一般的事項と、	
		県独自で定めた「生物の生息・生育地を保全する	
		地域」を記述している。また具体的な場所の特定	
		は難しいが「その地域で特長的な生物の生息・生	
**ウロめ	LILLE OF HE HOW DO	育地(例:谷戸地)」の記述がある。	
策定目的		様性の保全に関する今後の取り組みの方向性を示し	
		治体が連携・協働して生物多様性を守り、生態系を	こよみかえらせ、つく
# # # # # # # # # # # # # # # # # # #		こすための指針とすることを目的としている。	h-h-
情報内容 対象範囲	地域内の生物の 各地方自治体	生育・生息状況・場所、自然環境保全の地域指定	等
対象配囲		トから冊子がダウンロードできる	
公開状況 得られる	1 11日11年のサイ	「から川丁かグソノロートできる	
情報の例		 手賀沼 ●沈木枝物を含む水生核物の宝庫であっ ●サンカノゴイ、オオセッカ、コジ ●上水・農業用木利用のため、 	、各地
日中以マンジョ		た。水島等をくの野島を見ることができる。 ●周周辺の宅地化により水質が悪化、●長 ■原周辺の宅地化により水質が悪化、●長	
		年、勝州水質の全国ワースト1であったが、 北千業構水路の効果もあって、近年水質の 帯と湖面面積が減少している。 ● アメリカナマ・	
		水質の悪化 (富栄養化、透明度の低 下) による水生植物の絶滅、カミツ 川敷はオオセッカ、コジュリ	
		三番瀬 ●東京湾湾泉に残された干 ・ 本ガメ・ナガエツルノゲイトウなど 外来種の増加が起きている。 ・ ている。	<u> </u>
		場・浅海域であり、幼稚魚の 生育場・水島の生泉場・郷干	
		サリヤレクリエーションの 場・漁場として、倉重な存在	
		である。 ●平成 13 年に県 II-b が埋立て計画を中止して、現 原東内陸区域	
		在その再生の取組が行われて いる。 ●三方を埋立てられ	
		ているため、移行帯の消失、 育潮の発生、過度の人的利用	
		等様々な課題を抱えている。	
		盤洲干湯 ●広大な干阁が発達している。 東溝線を埋ま	
		●小原川河口部には、ハママツ ナなどの海底植物群落が見られ	
		るが、人為による影響を受けやすく、十分な監視と配慮が必要。	
		●後青地には春少種の中イロホ ソゴミムンが生息している。 ● 海岸と後青地の平野は、屏	n . 30
		一個は、企業内をジャイは、 と大東海からの主勢によって れている。近年上巻供給量の	形成さ
		富津岬・富津干高 内房 気 により砂浜がやせつつある。 木俗やマリンスポーツ等人に	●海
		●岬の北側を中心に干傷・薬場が 発達しており、東京湾における貴 パーカリス 単さ パーカー ファッナン等の繁殖地、	複物群
		重な存在である。 ●岬の南北で それぞれ幹徼的な海流域物軽落 の保全が課題	
		が見られるが、臨みつけその他の 人為を受け、状況は良くない。 ●明治初期の頃は、大部分がマツ林と草原	
		に度われていた。その後、核生の画像により、現在けらん一カンはかコナラ林等が図 後、自然性が高くなっている。 ●近年 10 2016	
		のニホンジカの増殖により、森林の下層植 生の黄弱化がおきており、多様性への影響	
		房総丘陵 が生じている。 ●ニホンジカ、ニホンザ ル、イノシン、外来権のキョンなどが増減 し、農林被害が出ている。	
		全域 「国山」●名技で公湊田と春世林等の雑誌とがセットになった里山が広がっていた。冬様な雑様が複合的に存在することから、	_
		【無山】●元郎で合併出と新沢井等の商末とかセットになった黒山が広かっていた。多様な環境が復合的に存在することから、 多様性が高かった。 ●近年、米田の放棄・護場整備、水路のコンクリート化、樹林の管理放棄によるアズマネザラの繁茂・村 決様生の資化・竹林の数大などにより、生物多様性の低下が起るている。	:
		「市街地」●耕林地の分断・劣化、移行帯等の消失による環境の単純化、河川の人工構造化と水質の悪化等により、生息・生育	,
		1回回れは「●の中心とソリカーコル、サリコマンの人により無効シャやに、ドバッシス上海にして入身ンの心をトルッ、エモーエル種の単純化、外来権の増加等が生じている。	
		<生物多様性ちば県戦略>	
配慮書段階	_ /	自然環境の概況に係る一般的な事項、その地区で注	
での活用可		地域で特に保全の望ましい環境等が記載されており	、地域の自然環境の
能性	┃状況を把握する	上で有用な資料である。	

河川水辺の国勢調査(国土交通省)

±≤≤ 日日	桂起夕	河川水辺の国勢調査(国土父通省) 	性報の性準
機関 国土交通省	情報名 河川水辺の国勢	概要 1990 年から、一級河川 109 水系の直轄管理区	情報の特徴
	例川水辺の国勢 調査	1990 年から、一級河川 109 水糸の直轄官埋区 間について、「魚類」「底生動物」「植物」「鳥	
	即用。且。	類」「両生類・爬虫類・哺乳類」「陸上昆虫類」	報
		の6項目の生物調査と、「河川調査(瀬・淵等)」、	十八
		「河川空間利用実態調査」の計8項目の調査を、	
		毎年いずれかの項目について実施している。	
調査目的	河川環境の整備	と保全を適切に推進するため、河川の自然環境に	関する基礎情報の定期的、
		収集整備を図ることを目的としている。(「河川	
	マニュアル」より		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
調査頻度	_	調査、底生動物調査、河川環境基図作成調査)	
	10年に1回(植物	7調査、鳥類調査、両生類・爬虫類・哺乳類調査、	陸上昆虫類等調査)
調査方法		至(文献調査,聞き取り調査,漁業実態等の整理)、	
		录(調査環境・調査結果)、同定、計測、写真撮影、	標本の作製及び保管、調査
	概要の整理)		
		前調査(文献調査, 聞き取り調査)、現地調査(現	
		十測、同定結果の記録、標本の作製及び保管、調査	
		室(文献調査, 聞き取り調査)、現地調査(現地調 関本は思) - 日京 - 万恵提覧 - 博士の作制及び伊賀	
		周査結果)、同定、写真撮影、標本の作製及び保管 な、文献調本、関き取り調本) - 現地調本 (現地調	
		査(文献調査,聞き取り調査)、現地調査(現地調 関本結果) 同党 写真撮影 調本概要の敷理)	国の夫旭、調宜結果の記録
		間査結果)、同定、写真撮影、調査概要の整理) 周査(文献調査, 聞き取り調査)、現地調査(現地	調本の宝梅の調本公田の記
		『登(く歌調査,聞き取り調査)、現地調査(現地 ・調査結果)、同定、計測、写真撮影、標本の作製	
		「嗣宜福朱)、同疋、計例、子具俶彰、儒本の作案) 事前調査(文献調査, 聞き取り調査)、現地調査(
		デ	
		: 事前調査(文献調査, 聞き取り調査)、現地調査	
	造物調査、調査		
情報内容		植物、鳥類、両爬哺、陸上昆虫類の分布(河川と	その周辺に限られる)
対象範囲	全国の一級河川 1	09 水系の直轄管理区間	
公開状況		p://www3.river.go.jp/)にて、記者発表資料とあ	
		索、種・河川からの検索などができる。重要種の	確認位置など非公開の内容
/B > 1 =	もある。		
得られる		常川島北京データペース(空川市公田の日分元主主) 国土交通省	
情報の例		会別にセット・タース(列加ルタ2のエアディ) 国主交通者 ビジェンス (列加ルタ2のエアディ) 国主交通者 「田田 (国主交通者) 同田 (国主交通者)	
		河川別園査結果 ここでは河川時に、該当する年景の該当体の関連成果に入って、「平応4年景河川水 辺の国鉄調査マニュアル・河川版(生物販査(額)に基づ、販票株式で見ることができま	
		す。(エクセル形式のファイルを表示します。)	
		別1名の選択では、左側のブルダウンメニュー(2検索したい利1か)表示されない場合は、「二級利111のブルダウンメニューより利1倍適抗してください。	
		□ 日本	
		○ A B ○ A	国土交通省
		 製造等額 1931 × 円の低く 全地状変化素 ・ 対象化準点を ト 接着化準の低差 河川 19億月 ※ 一般河口 調査結果の帳票 	
		1989 図 - 1579 図 1989 図 1989 図 1989 図 1989 図 1989 図 1989 図 1989 198	ることができま
		す。 見たい極楽を選んで、ボタンをクリックルで下さい。 なお、毎極漂の他例に <u>こち</u> をご覧がされい。	
		河川の概要	
		調合地区 選定規則 実理地区 位国国 程序建筑 2018 日 2018	
		調合等為基定規則 適定地区の写真 時代から代表中級	
		原住人以は通信を 地区分別の宣信果一覧	
		編年出現状況一覧表 出現種目除 過程分面図	
		(MEE A) 10/E)	
		S BACK NHOME	
	ノやます		ニー コ でならいローじへ
		面と検索結果表示。結果の各項目は主に CSV	<u> </u>
配慮書段階	河川沿いの線的な 	情報である点に留意する必要がある。	
での活用可			
能性			

河川水辺の国勢調査(都道府県)

機関	桂起夕	河川外及の国务明且(即足的 朱)	性起の性徴
都道府県	情報名 河川水辺の国	概要 国土交通省に準じて、各都道府県管理区間を	情報の特徴 河川沿いの線的な情
10 担 桁 宗	例川水辺の国 勢調査	国工父連省に準して、谷都連府県官理区間を 対象として実施しているが、対象河川は限られ	柯川沿いの線的な情 報、一部河川に限ら
	分明且 	大家として天旭しているが、対象例がは限り和している。	れる
調査目的	河川環暗の敷	ー(マース)。 備と保全を適切に推進するため、河川の自然環境に	
M T 口 H 7		統一的な収集整備を図ることを目的としている。	
		ニュアル」より引用)	(1/1/1/1/1/2012 E) Mill
調査頻度		類調査、底生動物調査、河川環境基図作成調査)	
		植物調査、鳥類調査、両生類・爬虫類・哺乳類調査	、陸上昆虫類等調査)
調査方法		間査 (文献調査, 聞き取り調査, 漁業実態等の整理)	
	査の実施、調	間査結果の記録(調査環境・調査結果)、同定、計測	則、写真撮影、標本の
	作製及び保管	管、調査概要の整理)	
	・ 底生動物: 事	事前調査(文献調査, 聞き取り調査)、現地調査(ヨ	見地調査の実施、調査
	結果の記録、	同定、計測、同定結果の記録、標本の作製及び保	:管、調査概要の整理)
		間査(文献調査, 聞き取り調査)、現地調査(現地	
		荃環境・調査結果)、同定、写真撮影、標本の作 り	製及び保管、調査概要
	の整理)		
		間査(文献調査, 聞き取り調査)、現地調査(現地	
		を環境・調査結果)、同定、写真撮影、調査概要の	
		行調査(文献調査,聞き取り調査)、現地調査(現場 関本環境 調本(共) 日宮 影測 写真提覧 #	
	米の記跡(記録)に 調査概要の	周査環境・調査結果)、同定、計測、写真撮影、ホ ¤म	京本の作器及OMR官、
	.,	^{医性)} : 事前調査(文献調査, 聞き取り調査)、現地調査	(租地調本の宝施 調
		录(調査環境・調査結果)、同定、写真撮影、標準	
	査概要の整理		KV/FX/XU/KEV/M
		丘/ 監:事前調査(文献調査,聞き取り調査)、現地調	香(陸域調香、水域調
		間査、調査概要の整理)	T (177 941), 177 () 1, 941), 1
情報内容		、植物、鳥類、両爬哺、陸上昆虫類の分布(河川と	その周辺に限られる)
対象範囲	各都道府県		
公開状況	河川環境 DB(h	tp://www3.river.go.jp/)にて、記者発表資料と	あわせて公開、または
	都道府県 HP で行	各自治体が公表。	
得られる		100 100	
情報の例		トップ 部光 福田 子育で 最合し 西京 日本	
		102年2)東西東京・北京東京・北京市でよって (480円の) 河口(ALIO)(189回日 河川水辺の国勢調査 (京都市)	
		動物物の主張の台間機能に設備に対応が大規格が支充で、同間に生命する生物を影響することはより基準 なっとです。「別に下される機能を対象をする人を分替的の支援が、いろかを影ねることは、別 利を整理する方式で大切なことです。 業務機能は、単項が展集と対策が成功能能響があった。1987年、1	
		対を整合する分えて水がなどを守る。 部務を任う。中国の中国の中国の自然の関係的では、表現の原金を行っています。平道な空間までは、原 部務を任う。中国の中国の中国の自然の原金を持ちています。 同な、中国の中国の中国の中国の中国の自然の中国の自然の自然の自然の自然の自然の自然の自然の自然の自然の自然の自然の自然の自然の	
		国際製造機・電子連載を 組みをジング 毎月における実用での確認会 通り扱い上が 2月10日、北京自由地議	
		转者 様名 道金級所通 ヤツメウライギ ストヤンメ(株主) ファギ科 フナギ 無数	
		□ (朴 □ 1、少□のウナ、ギシラナ、キシブナ、サガ(水泉)、ヤリタナゴ (千年ングラナゴ、東江)、ネイリッドのテナゴ、ハウレン、 オイカル、カブムン「マカイ、アブラハヤ、マルタ、 金書写真	
		ウザイ、セフュ、ビアビディ、メキャラ、テロコ、ウカカ、バス。 から中国、ビディ カマウル・アラト、カイ、スラロコ ドウェフ科 ドウコ・シャドリコ・、ホケドショウ (8年2) 年年 ボール・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー	
		# 1	
		アユ科 アユ 日前の 上海県の第 日本作業カウンセラー協会 プラウントラウト、イワナ、サケ、ギンザケ、ヤマメ(サクラマス)。	
		デザッド・デット・デット・ディー ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・	
		サンフウシュ科 フルーギル、オオラットス 原列 (株) (大) (マーナー・マーナー・マーナー・マーナー・マーナー・マーナー・マーナー・マーナー	
		シイヨンパかり、スマチチブ、チチブ ライワンドション科力ムルチー	
		(※四1大事・は国際官のレーシリストを見し、ルデー・ダブラの開発を制です。 なお、こに十単した別は非常再等ので実施したで何以来の返の監督設定」により生息していることが確認された会ですが、一般的な形とりを決定なった。当該のような場合であるので、おいては、おいては、おいては、日本のでは、日本の	
		The said the	
		現は私の攻勢開会 ウダイの直接	
		<群馬県 HP に公開されている調査結果>	
T7 +5 +5 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	> → 11120 × · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
配慮書段階		的な情報である点に留意する必要がある。また、記	周盆は都迫肘県管埋剂
での活用可能性	川の一部に限ら	オレつ。	
能性			

モニタリングサイト 1000

環境省	機関	情報名		根	【 要		情報の特徴
設置し、基礎的な環境情報の収集を長期にわた って継続することにより、日本の自然環境の質 的・量的な劣化を早期に把握するための仕組分 調査には、大学、研究機関、専門家、地域のNPO ボラシティアなどが参加している。 日本列島の多様な生態系のそれぞれについて、全国にわたって 1000 ヶ所程度のモニタリングサイトを設置し、基礎的な環境情報の収集を長期にわたって 2000 ヶ所程度のモニタリングサイトを設置し、基礎的な環境情報の収集を長期にわたって 2000 ヶ所程度のモニタリングサイト 1000 を通じて、日本の長期生態系観測態勢を整えることも意義である。 ・日本のさまざまな生態系の動向を把握するため、自然性の高い森林、多様な任果生物が生息かまる里地里山人 入為改変が進められてきた河川、湖泊、海岸、豊かな生物程を育む下海、巌場・サンゴ礁など、各地に見られる生態系タイプの特性を踏まえてモニタリングサイトを設置する。 ・生態系タイプ別の調査手法により、モニタリングを継続する。また、鳥類を指標種として取り上げ、複数の生態系を機断的にカバーする。 森林・草原調査:樹汐植生、湿原植生の状況。底生動物の確認状況等 理地調査:樹汐は生、温原植生の状況。底生動物の確認状況等 調査結果は、報告書・データファイル・連報・ニュースレターとしてまとめられ、インターネットサイト上で公開されている。 (http://www.biodic.go.jp/moni1000/moni1000/index.html) インターネットサイト上では、下記データがダウンロードできる。 森林・草原調査 ・海本の主義経験音 ・地表保御性中虫調査・海の強調査・アクティア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・	環境省			-			
のて継続することにより、日本の自然環境の質的・量的な劣化を早期に把握するための仕組み。調査には、大学、研究機関、専門家、地域のNPO、ボランティアなどが参加している。 日本列島の多様な生態系のそれぞれについて、全国にわたって1000ヶ所程度のモニタリングサイトを設置し、基礎的な劣化を早期に把握することを目的としている。モニタリングサイト1000を通じて、日本の自然環境の質的・量的な劣化を早期に把握することを目的としている。モニタリングサイト1000を通じて、日本の長期生態系観測態勢を整えることも意義である。		サイト 1000					
前番には、大学、研究機関、専門家、地域の NPO、ボランティアなどが参加している。 日本列島の多様な生態系のそれぞれについて、全国にわたって 1000 ヶ所程度のモニタリングサイトを設置し、基礎的な環境情報の収集を長期にわたって継続して、日本の自然環境の質的・量的な劣化を早期に把握することを目的としている。モニタリングサイト 1000 を通じて、日本の長期生態系観測態勢を整えることも意義である。 ・日本のさまざまな生態系の動向を把握するため、自然性の高い森林、多様な在来生物が生息する里地里山、人為改変が進められてきた河川、湖沼、海岸、豊かな生物相を育む干渇・藻場・サンゴ礁など、各地に見られる生態系タイプの特性を踏まえてモニタリングサイトを設置する。 ・生態系タイプ別の調査手法により、モニタリングを継続する。また、鳥類を指標種をして取り上げ、複数の生態系を横断的にカバーする。森林・草原調査:樹木、昆原植生の状況。底生動物の確認状況等型地調査:機物相の状況。鳥類、中・大型哺乳類、指標種群等の確認状況等がシボ・チドリ類調査:シギ・チドリ類の確認状況等がシギ・チドリ類調査・ジギ・チドリ類の確認状況等のエニタリングサイト							が当惧されている。
調査目的 日本列島の多様な生態系のそれぞれについて、全国にわたって 1000 ヶ所程度のモニタリングサイトを設置し、基礎的な環境情報の収集を長期にわたって継続して、日本の自然環境の質的・量的な労化を早期に把屋することを目的としている。モニタリングサイト1000 を通じて、日本の自然環境の質的・量的な労化を早期に把屋することを目的としている。モニタリングサイト1000 を通じて、日本の自然環境の質的・量的な労化を早期に把屋することを目的としている。モニタリングサイトを設置し、人為改変が進められてきた可川、湖沼、海岸、豊かな生物相を育む下渇・藻場・サンゴ礁など、各地に見られる生態系タイプの明査手法により、モニタリングを継続する。また、鳥類を指標種として取り上げ、複数の生態系を横断的にカバーする。・生態系タイプ別の調査手法により、モニタリングを継続する。また、鳥類を指標種として取り上げ、複数の生態系を横断的にカバーする。 本・草原調査:樹木、昆虫(地表排徊性甲虫)、鳥類の確認状況等里地調査:植物相の状況。鳥類、中・大型哺乳類、指標循準等の確認状況等ガンカモ類調査:ガン、ハクチョウ、カモ、カイツブリ、バンの仲間の確認状況等シギ・チドリ類調査:ガン、ハクチョウ、カモ、カイツブリ、バンの仲間の確認状況等シギ・チドリ類調査・ジギ・チドリ類の確認状況等 全国 1000 ヶ所程度のモニタリングサイト できる。 (http://www.biodic.go.jp/moni1000/moni1000/index.html) インターネットサイト上で公開されている。(http://www.biodic.go.jp/moni1000/moni1000/index.html) インターネットサイト上では、下記データがダウンロードできる。 森林 草原調査 ・海球側性甲虫調査 ・海球網性甲虫調査 ・海球網性甲虫調査 ・海球網性甲虫調査 ・海球網性甲虫調査 ・海球網性甲虫調査 ・海球網 ・ボルカー ・海球網 ・ボルカー・海球網 ・ボルカー ・海球網 ・ボルカー ・海球網 ・ボルカー ・海球網 ・ボルカー ・海球網 ・ボルカー ・海球網 ・ボルカー・ボルカー ・海球網 ・ボルカー・海球網 ・ボルカー・ボルカー・海球網 ・ボルカー・海球網 ・ボルカー・カー・ボルカー・カー・ボルカー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ						,.,,	
調査目的 日本列島の多様な生態系のそれぞれについて、全国にわたって 1000 ヶ所程度のモニタリングサイトを設置した。最適的な環境情報の収集を長期にわたって継続して、日本の自然環境で質的、量的な劣化を早期に把握することを目的としている。、モニタリングサイト 1000 を通じて、日本の長期生態系観測態勢を整えることも意義である。 ・日本のさまざまな生態系の動向を把握するため、自然性の高い森林、多様な任来生物が生息するも単地里山、人為改変が進められてきた河川、湖沼、海岸、豊かな生物相を育む干潟・満場・サンゴ礁など、各地に見られる生態系タイプの特性を踏まえてモニタリングサイトを設置する。 ・生態系タイプ別の調査手法により、モニタリングを継続する。また、鳥類を指標種として取り上げ、複数の生態系を横断的にカバーする。 森林・草原調査:樹物相の状況。鳥類、中・大型哺乳類、指標種群の確認状況等湖沼・湿原調査:ガン、ハクチョウ、カモ、カイツブリ、バンの仲間の確認状況等がキ・チドリ類調査:シギ・チドリ類の確認状況等 全国 1000 ヶ所程度のモニタリングサイト 副査結果は、報告書・データファイル・速報・ニュースレターとしてまとめられ、インターネットサイト上で公開されている。(http://www.bioidc.go.jp/momil000/moni1000/index.html) インターネットサイト上では、下記データがダウンロードできる。 森林・草原調査・地表徘徊性甲虫調査・産生患類調査・地表徘徊性甲虫調査・産生患類調査・地表徘徊性甲虫調査・産生患類調査・ガンカモ類調査・ガンカモ類調査・カア・大型哺乳類・消滅・湿原値生・変・チ・ドリ類調査・シギ・チドリ類調査・カア・イル・ア・イル・ア・イル・ア・イル・ア・イル・ア・イル・ア・イル・ア・イ							
タリングサイトを設置し、基礎的な環境情報の収集を長期にわたって継続して、日本の自然環境の質的・量的な劣化を早期に把握することを目的としている。モニタリングサイト1000を通じて、日本の長期に艶秀を敷えることも意義である。			ボランティア	などが参え	加している。		
自然環境の質的・量的な劣化を早期に把握することを目的としている。モニタリングサイト1000を通じて、日本の長期生態系観測態勢を整えることも言義である。 ・日本のとまざまた生態系の動向を把握するため、自然性の高い森林、多様な在來生物が生息する里地里山、人為改変が進められてきた河川、湖沼、海岸、豊かな生物相を育む干潟・藻場・サンゴ礁など、各地に見られる生態系タイプの特性を踏まえてモニタリングサイトを設置する。 ・生態系タイプ別の調査手法により、モニタリングを継続する。また、鳥類を指標種として取り上げ、複数の生態系を横断的にカバーする。森林・草原調査:樹物相の状況。鳥類・中・大型哺乳類、指標種群等の確認状況等里地調査:樹物相の状況。扇類・中・大型哺乳類、指標種群等の確認状況等期者語:ガン、ハクチョウ、カモ、カイツブリ、バンの仲間の確認状況等がカーモ類調査:シギ・チドリ類調査:シギ・チドリ類調査・シギ・カーとしてまとめられ、インターネットサイト上で公開されている。(http://www.biodic.go.jp/moni1000/moni1000/index.html) インターネットサイト上では、下記データがダウンロードできる。森林・草原調査・海球律性甲虫調査・整装徘徊性甲虫調査・整装徘徊性甲虫調査・整葉作個性甲虫調査・整葉作個性甲虫調査・連接鳥類調査・アンカモ類調査・ガンカモ類調査・ガンカモ類調査・ガンカモ類調査・カンカモ類調査・カンカモ類調査・ジギ・チドリ類調査・シギ・チドリ類調査・シギ・チドリ類調査・ジャ・チドリ類調査・ジャ・チドリ類調査・ジャ・チドリ類調査・ジャ・チドリ類調査・ジャ・チドリ類調査・ジャ・チドリ類調査・ジャ・チドリ類調査・ジャ・チドリ類調査・ジャ・チドリ類調査・ジャ・チドリ類調査・ジャ・チャリ類調査・ジャ・チャリ類調査・ジャ・チャリ類調査・ジャ・チャリ類調査・ジャ・チャリ類調査・ジャ・チャリ類調査・ジャ・チャリカーに対している。日本は単年のよりに対しているのは、日本は関連などのでは、日本は関連など、日本は関連など、日本は関連など、日本は、日本は関連など、日本は関連など、日本は関連など、日本は関連など、日本は関連など、日本は関連などのでは、日本は関連など、日本は関連などのでは、日本は関連などのでは、日本は関連など、日本は関連などのでは、日本は関連などのでは、日本は関連などのでは、日本は関連など、日本は関連など、日本は関連など、日本は関連など、日本は関連などのでは、日本は関連などのでは、日本は関連などのでは、日本は関連などのでは、日本は関連などのでは、日本は関連などのでは、日本は関連などのでは、日本は関連などのでは、日本は関連などのでは、日本は関連などのでは、日本は関連などのでは、日本は関連などのでは、日本は関連などのでは、日本は、日本は、日本は、日本は、日本は、日本は、日本は、日本は、日本は、日本	調査目的						
1				, . ,			
 調査方法 ・日本のさまざまな生態系の動向を把握するため、自然性の高い森林、多様な在来生物が生息すると思維し、人為改変が進められてきた河川、湖沼、海岸、豊かな生物相を育む干渇・薬場・サンゴ礁など、各地に見られる生態系タイプの特性を踏まえてモニタリングサイトを設置する。 ・生態系タイプ別の調査手法により、モニタリングを継続する。また、鳥類を指標種として取り上げ、複数の生態系を横断的にカバーする。 森林・草原調査:樹木、昆虫(地表徘徊性甲虫)、鳥類の確認状況等温炉調査:超が相の状況。鳥類、中・大型哺乳類、指標種群等の確認状況等がカンカモ類調査:ガン、ハクチョウ、カモ、カイツブリ、バンの仲間の確認状況等が・チドリ類調査・シギ・チドリ類の確認状況等と手・チドリ類の確認状況等のギ・チドリ類調査・シギ・チドリ類の確認状況等のインターネットサイト上で公開されている。(http://www.biodic.go.jp/moni1000/moni1000/index.html) 荷谷和名情報の例 行きれる。 情報の例 情報の例 情報を連携である。 海球・準度調査・溶薬体技・落下種子調査・地表徘徊性甲虫調査・整生鳥類調査・地表徘徊性甲虫調査・整生鳥類調査・地表徘徊性甲虫調査・整生鳥類調査・ガンカモ類調査・ガンカモ類調査・ガンカモ類調査・ガンカモ類調査・ガンカモ類調査・ジギ・チドリ類調査・ジャ・チドリ類調査・ジャ・チドリ類調査・ジャ・チドリ類調査・ジャ・チドリ類調査・ジャ・チドリ類調査・ジャ・チドリ類調査・ジャ・チドリ類調査・ジャ・チドリ類調査・ジャ・チャリ類調査・ジャ・チャリ類調査・ジャ・チャリ類調査・ジャ・チャリ類調査・ジャ・チャリ類調査・ジャ・チャリ類調査・ジャ・チャリ類調査・ジャ・チャリ類調査・ジャ・チャリ類調査・ジャ・チャリ類調査・ジャ・チャリ類調査・ジャ・チャリ類調査・ジャ・チャリ類調査・ジャ・チャリ類調査・ジャ・チャリ類調査・ジャ・チャリ類調査・ジャ・チャ・リー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー							
が生息する里地里山、人為改変が進められてきた河川、湖沼、海岸、豊かな生物相を育む干潟・藻場・サンゴ確など、各地に見られる生態系タイプの特性を踏まえてモニタリングサイトを設置する。・生態系タイプ別の調査手法により、モニタリングを継続する。また、鳥類を指標種として取り上げ、複数の生態系を横断的にカバーする。森林・草原調査:樹木、昆虫(地表徘徊性甲虫)、鳥類の確認状況等里地調査:植物相の状況。鳥類・中、大型哺乳類、指標種群等の確認状況等 ガンカモ類調査・ジギ・チドリ類の確認状況等 シギ・チドリ類調査・ジギ・チドリ類の確認状況等 シギ・チドリ類調査・ジギ・チドリ類の確認状況等 シギ・チドリ類の確認状況等 シギ・チドリ類の確認状況等 シギ・チドリ類の確認状況等 シギ・チドリ類の確認状況等 連	調査方法						
タリングサイトを設置する。							
・生態系タイプ別の調査手法により、モニタリングを継続する。また、鳥類を指標種として取り上げ、複数の生態系を横断的にカバーする。				ど、各地	に見られる生態	系タイプの	特性を踏まえてモニ
情報内容				- L 10 -	- 5 11 \ B + 6W	体上っ よ	ナーウボナド無任!
精報内容 森林・草原調査:樹木、昆虫(地表徘徊性甲虫)、鳥類の確認状況等 里地調査:植物相の状況。鳥類、中・大型哺乳類、指標種群等の確認状況等 ガンカモ類調査:ガン、ハクチョウ、カモ、カイツブリ、バンの仲間の確認状況等 シギ・チドリ類調査:シギ・チドリ類の確認状況等 全国 1000 ヶ所程度のモニタリングサイト 調査結果は、報告書・データファイル・速報・ニュースレターとしてまとめられ、インターネットサイト上で公開されている。 (http://www.biodic.go.jp/moni1000/moni1000/index.html) インターネットサイト上では、下記データがダウンロードできる。 森林・草原調査 ・ 海来護技・落下種子調査 ・ 海来護技・落下種子調査 ・ 連動者 ・ 連載者 ・ 連						続する。よ	に、局類を指標種と
単地調査: 植物相の状況。鳥類、中・大型哺乳類、指標種群等の確認状況等	情報内容					可確認状況	 2等
ガンカモ類調査: ガン、ハクチョウ、カモ、カイツブリ、バンの仲間の確認状況等シギ・チドリ類調査:シギ・チドリ類の確認状況等 対象範囲 全国 1000 ヶ所程度のモニタリングサイト 公開状況 調査結果は、報告書・データファイル・速報・ニュースレターとしてまとめられ、インターネットサイト上で公開されている。(http://www.biodic.go.jp/moni1000/moni1000/index.html) 得られる情報の例 (http://www.biodic.go.jp/moni1000/moni1000/index.html) インターネットサイト上では、下記データがダウンロードできる。 森林・草原調査・培掘書で、地表徘徊性甲虫調査・連接・指標種群等・地表徘徊性甲虫調査・地表徘徊性甲虫調査・地表徘徊性甲虫調査・指標種群等・湖沼、湿原調査・・湖辺植生、湿原植生・底生動物等がカモ類調査・ガンカモ類調査・ガンカモ類調査・ディー対象環境・シギ・チドリ類調査・シギ・チドリ類調査・シギ・チドリ類調査・シギ・チドリ類調査・シギ・チドリ類 ※情報は随時更新されている	117 161 7 11	里地調査:植物	相の状況。鳥類	頁、中・大	型哺乳類、指標	種群等の確	E 認状況等
対象範囲 全国 1000 ヶ所程度のモニタリングサイト 公開状況 調査結果は、報告書・データファイル・速報・ニュースレターとしてまとめられ、インターネットサイト上で公開されている。							
対象範囲 全国 1000 ヶ所程度のモニタリングサイト 協議課は、報告書・データファイル・速報・ニュースレターとしてまとめられ、インターネットサイト上で公開されている。(http://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html) 得られる情報の例 インターネットサイト上では、下記データがダウンロードできる。森林・草原調査・毎末調査・連携標種と、商業落枝・落下種子調査・地表徘徊性甲虫調査・地表徘徊性甲虫調査・地表徘徊性甲虫調査・連門調査・適力のモ類調査・適力のモ類調査・ガンカモ類調査・ガンカモ類調査・ガンカモ類調査・ガンカモ類調査・ガンカモ類調査・ジボ・チドリ類調査・ジボ・チドリ類調査・ジボ・チドリ類調査・ジボ・チドリ類調査・ジボ・チドリ類調査・ジボ・チドリ類調査・ジボ・チドリ類調査・ジボ・チドリ類調査・ジボ・チドリ類調査・ジボ・チドリ類調査・ジボ・チドリ類調査・デースを表別のシボ・デリカー・企画の・企画の・企画の・企画の・企画の・企画の・企画の・企画の・企画の・企画の						、バンの何	中間の確認状況等
調査結果は、報告書・データファイル・速報・ニュースレターとしてまとめられ、インターネットサイト上で公開されている。	対象節囲						
# 2 ターネットサイト上で公開されている。						スレターと	してまとめられ、イ
インターネットサイト上では、下記データがダウンロードできる。							
情報の例 森林・草原調査 ・ 毎末調査 ・ 溶葉落枝・落下種子調査 ・ 地表徘徊性甲虫調査 ・ 陸生鳥類調査 里地調査 ・ 植物相 ・ 鳥類、中・大型哺乳類 ・ 指標種群 等 湖沼・湿原調査 ・ 湖辺植生、湿原植生 ・ 底生動物 等 ガンカモ類調査 ・ ガンカモ類調査 ・ ジギ・チドリ類調査 ・ シギ・チドリ類調査 ・ シギ・チドリ類調査 ・ シギ・チドリ類調査 ・ ジボ・チドリ類調査 ・ ジボ・チドリ類調査 ・ シボ・チドリ類調査 ・ シボ・チドリ類調査 ・ シボ・チドリ類調査 ・ シボ・チドリ類調査 ・ シボ・チドリ類調査 ・ シボ・チドリ類調査							
 ・ 毎本調査 ・ 落葉落枝・落下種子調査 ・ 地表徘徊性甲虫調査 ・ 陸生鳥類調査 里地調査 ・ 植物相 ・ 鳥類、中・大型哺乳類 ・ 指標種群 等 湖沼・湿原調査 ・ 湖辺植生、湿原植生 ・ 底生動物 等 ガンカモ類調査 ・ ジギ・チドリ類調査 ・ シギ・チドリ類調査 ・ シギ・チドリ類調査 ・ シギ・チドリ類調査 ※情報は随時更新されている 				は、下記ラ	ータがダウンロ	ードできる) ₀
 ・ 落葉落枝・落下種子調査 ・ 地表徘徊性甲虫調査 ・ 陸生鳥類調査 里地調査 ・ 植物相 ・ 鳥類、中・大型哺乳類 ・ 指標種群 等 湖辺植生、湿原植生 ・ 底生動物 等 ガンカモ類調査 ・ ガンカモ類調査 ・ シギ・チドリ類調査 ・ シギ・チドリ類調査 ・ シギ・チドリ類調査 ※情報は随時更新されている 	1百枚のフ1例	701.11	<u>1</u>			9	· Ch
 ・地表徘徊性甲虫調査 ・陸生鳥類調査 里地調査 ・植物相 ・鳥類、中・大型哺乳類 ・指標種群 等 湖辺植生、湿原植生 ・底生動物 等 ガンカモ類調査 ・ガンカモ類調査 ・シギ・チドリ類調査 ・シギ・チドリ類調査 ※情報は随時更新されている 			落下種子調查				
里地調査 ・植物相 ・鳥類、中・大型哺乳類 ・指標種群 等 湖沼・湿原調査 ・湖辺植生、湿原植生 ・底生動物 等 ガンカモ類調査 ジギ・チドリ類調査 ・シギ・チドリ類調査 ・シギ・チドリ類調査 ・シギ・チドリ類調査 ・シギ・チドリ類調査 ・シギ・チドリ類 ・シボ・チドリ類 ・シャル・チャリカ ・シボ・チドリ類 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						50	
・植物相 ・鳥類、中・大型哺乳類 ・指標種群 等 湖沼・湿原調査 ・湖辺植生、湿原植生 ・底生動物 等 ガンカモ類調査 ・ガンカモ類調査 シギ・チドリ類調査 ・シギ・チドリ類調査 等 ※情報は随時更新されている			查				
・鳥類、中・大型哺乳類 ・指標種群 等 湖沼・湿原調査 ・湖辺植生、湿原植生 ・底生動物 等 ガンカモ類調査 ・ガンカモ類調査 ・ガンカモ類調査 ・ジギ・チドリ類調査 ・シギ・チドリ類調査 等 ※情報は随時更新されている							
 ・指標種群 等 湖沼・湿原植生 ・底生動物 等 ガンカモ類調査 ・ガンカモ類調査 シギ・チドリ類調査 ・シギ・チドリ類調査 ※情報は随時更新されている 			上刑				
湖沼・湿原調査 ・湖辺植生、湿原植生 ・底生動物 等 ガンカモ類調査 ・ガンカモ類調査 ・ガンカモ類調査 シギ・チドリ類調査 ・シギ・チドリ類調査 等 ※情報は随時更新されている							
 ・底生動物 等 ガンカモ類調査 ・ガンカモ類調査 ・ジギ・チドリ類調査 ・シギ・チドリ類調査 ・シギ・チドリ類調査 等 ※情報は随時更新されている 						20	**
・低生動物 等 ガンカモ類調査 ・ガンカモ類調査 シギ・チドリ類調査 ・シギ・チドリ類調査 等 ※情報は随時更新されている						Trade de la companya	
・ガンカモ類調査 ・ガンカモ類調査 シギ・チドリ類調査 ・シギ・チドリ類調査 等 ※情報は随時更新されている							○森林·草原
 シギ・チドリ類調査 ・シギ・チドリ類調査 ※情報は随時更新されている ***・チドリ類調査 ***・チャリ類 ・サンゴ値 ・小島嶼 				8			● 湖沼· 湿原
・シギ・チドリ類調査 等 ※情報は随時更新されている				44			○砂浜
等 ※情報は随時更新されている		1	Z (19 · 3	1		•	アマモ場・藻場)
			等		3		●サンゴ 礁
		※情報は随時更	新されている	6			
田 井町 里 キね グレッファ ー カー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		坦大町男とい	ブハフェーカ	•		ar.	1
現在配置されているモニタ リングサイトは、右図の通り				•			•
である。						£**	•
		-			/		
					/		<i>5.</i>
配慮書段階 全国に 1,000 ヶ所程度のモニタリングサイトが設定されているが、日本全図にプロッ	和传生机账	夕 国に 1 000	ヶ	- 夕 川 ハ / 5	・サイトが乳ウヤ	カアハスチ	こ 日本今回にプロ…
での活用可 トされており詳細な位置が把握しにくいこと、個別箇所のデータが現時点ではすぐに閲							
能性 覧できないことなどの制約がある。							

レッドデータブック(環境省)

機関	情報名		概要		情報の特徴		
環境省	レッドデータ	/I-/	2 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	作成・改訂した絶	全国を網羅した情報		
	ブック			ストに基づき、よ			
				ータブック。正式			
				ものは『日本の絶			
				、1995 年からの見 のは『改訂・日本			
				のは『Q司・日本 物 -レッドデータ			
		ブックー』と		物・レットナータ			
作成目的	野生生物の保			ス種を的確に押場	 し、一般への理解を広		
	めることを目的	としている。					
情報内容					足類等,淡水魚類,淡水		
社会签 田	度只領, 地 <u>(</u>) 全国	鳥類, 陸座貝類	貝,阿生類,哺乳類,	,爬虫類,蘚苔類の重	1. 要種リスト		
対象範囲 公開頻度		が再年されて					
公開状況	不定期にリスト		(http://www.bi	odia go in/zdh/zd	b_f.html) より、CSV		
公用认为					b_1.110m1/ より、CSV でに刊行された RDB 掲		
		~		•	Wはまだ反映されてい		
	製作を 使用 ない。) .J _ C _ D _ C		• / 1 / / \ 1 \ \ / \ \	TAIAAICIAN CAU CV		
		ト、レッドデ	ータでは公表形態	が異なる。レッド	リストはリストのみ、		
			置情報等も記載さ)		
得られる							
情報の例							
	<u>トップ</u> > <u>RDB種検禁</u>	> <u>新 動物RDB種 検索</u> >検索	結果				
	SK.	絶滅危惧種情報					
	■ 新 動	物RDB種 検索結果					
	あなたが	指定した条件					
	分類群:[甫乳類	ランク:絶滅危惧IA類(C	CR)			
	種名:	検索 た結里 19	学名: ヒットしました。1 – 12を表示し	.7います			
	No.	和名	学名	分類群ランク			
		オオコウモリ	Pteropus dasymallus dasymallu				
		<u>・ワラオオコウモリ</u> ・ワトゲネズミ	Pteropus pselaphon Tokudala osimensis muenninki	哺乳類 絶滅危惧IA類(CR) 哺乳類 絶滅危惧IA類(CR)			
	4 セスジ	ネズミ トゥゴンROB種株束ン無 動物RD	D技 核束 > 修幸福是 > 核毒藥果料約	<u> </u>			
	5 <u>センナ</u> 6 ダイト		艳滅危惧種情報検索				
	7 <u>ツシマ</u>	ヤマネ コウモリル オオコウモリ科	網遞放價IA類(OR)				
	8 <u>二木ン</u> 9二木ン	<u>アシカ</u> 和名 :エラブオオコ ・カワウ 学名 : Pleropue d	ウモリ asymallus dasymallus Temminck, 1827				
		原記載: カワウ 英名 : Erabu flying					
		<u>Pココキク</u> フバルホオ					
	1.0132	ヤン/ハレハス 接差 タビウテスコウモリ(Plarcessa desgra-lius)の基面値で、日本良部系、定義、中之系、平泉、英で系に分布する。全体の生息合計表さが断発を描えないと推測され					
	All Rights	ة. All Rights Reserv					
		形態 高級長174~14km、発動長19~75kmで定めない。体毛は発色を帯び、誘動は信信い責色を帯びた明るい毛棒で取り着かれる。					
		分布の概要 同項目集内日が見着目(25.2km)、日か日(25.5km) - 第日(2.1km)、第三目(2.5km)、字目(2.1km) - Fの五十九 - 次東に日本的するので展示権の下点を					
		要決点集の二水支援点(35.3%)、中之品(34.3%)、平品(2.1%)、素石品(7.5%)、深品(7.1%)に分布する。本物は基準制を含めて高高機動に4種種、中国(6.3%)から:悪種が知られる。					
		生物学的特性 毎月性であり、意味は木に止まって住み、夜に餌を取りに並かける。冷凍期は10~11月であり、5~5月に並産する。3月時期乳し、3~13月に栽から独立する。オ スの集種参加は生物なら月である。食物としてタフ料の果太が身まれるが、イチュのの裏、ガジュマルの別は、葉、フェンの場象、マルッジュの最も利用される。次は 気度性が必定素する。食物として変更が必然。るたら間として最初を表するとなった。					
		スの繁殖参加は生後2 広葉樹杯に生息する。 が大きく変化するが、	8ヶ月である。食物としてタワ料の果実が好まれ 、銅器として広葉樹特が、ねぐら場所として風が この食物の分布状況とのぐら場所の位置により	をが、イチョウの楽、ガシュマルの別長・禁、アコウ 直接入り込まない谷間の評価や平地の高木棚冠がよく おおまかな行動版が決まる。	の新葉、マルバグミの葉も利用される。常額 利用される。季節により結実する食物の分布		
			 <rdb th="" 掲載種の検:<=""><th></th><th></th></rdb>				
配慮書段階			・生育位置がわか	_			
での活用可				が、位置情報はメ	ッシュ等で公開されて		
能性	おり、詳細な位	置の把握は難	しい。				

レッドデータブック(都道府県)

機関	情報名	概要		情報の特徴
都道府県	レッドデータ	地方自治体でも環境省に準		
	ブック	り、47 都道府県の全てで作成		布図も公開
		地方版(植物、鳥類)もある		
作成目的		全のために、絶滅のおそれのな	ある種を的確に把握	し、一般への理解を広
	めることを目的			
情報内容		束植物, 汽水魚類, 菌類, 甲殼類		
		鳥類,陸産貝類,両生類,哺乳類	質, 爬虫類, 蘚苔類の重	重要種リストと、場合
110000	によってはその	分布		
対象範囲	都道府県	7-4× () ->		
公開頻度	不定期に情報が		. 3	
公開状況	· ·	ている。Web 公開の自治体もあ	-	10 八田 元分にい 田 よ、フ
但これで	内谷は、リスト	のみ、分布図、メッシュ図、G	IS等、都理府県によ	り公開形態か異なる。
得られる				
情報の例	AW # 21 P 7 2 P 7 1 P 7			
	射乳類 <トガリ目(モグラ目) モグラ MAMMALIA <soricomorpha <="" t="" th=""><th>And Andrews Street</th><th></th><th></th></soricomorpha>	And Andrews Street		
	= × ×	ラモグラ Euroscaptor mizura (Günther)		
	【選定理由】 日本固有種で、本州のみに生息 年 2000) しか 1 条個体幹の	Bしており、その分布域は青森県から広島県にまでおよんでいる (阿 生息地は分断されており、連続した分布域はほとんどない。 愛知県		
	では5市町の6ヶ所の分布記録 れる。県内の個体群は孤立して、	上があるい。 があるにすぎず、分布域、生息個体数ともに限られていると考えら おり、生息環境の悪化により絶滅の可能性があると考えられる。		
	【形 態】 体重 26.0~35.5g、照期長 77. 大長 25.5~28.0mm (頻繁 2000	0~107.0mm、尾長 20.0~26.0mm、後足長 11.0~16.0mm、頭骨最)。アズマモグラに似たモグラであるが、体の大きさははるかに小さ		
	い。短く太い吻の上面前端には く。耳介はなく眼は皮下に埋ま	前後に長い三角形の裸出部がある。円盤状の鼻鏡の前方に鼻孔が開っている。手掌の長さと幅はほぼ等しく、長い平爪状の爪を持つ。		
	権式は18/8,C1/1,P4/4,M8/8=44 【分布の概要】 【県内の分布】	、存住式は C7+T13+L6+S5+Cd18=44。		
	豊田市の寧比曽岳 (旧足助 か,2001) と御所貝津町 (旧: 田,1996a)、北設楽都設楽町の田	aa就町) (原		
	田,1996b)、新城市 (鳳来地城) : b)、犬山市栗栖 (木村・広瀬,198	原田,1996a;	マツバラン(マツバラン 科) Psilotum nudum (L) Beauv.	兵庫県: Bランク 環境省: 準絶滅危惧
	【国内の分布】 本州の山地(青森、秋田、岩 木、群馬、埼玉、新潟、富山、	手、官城、横	種の概要	
	山梨、岐阜、静岡、愛知、三重、 奈良、和歌山、鳥取、島根、広	滋賀、京都、	緩地では衝撃に着生するが、北の分布限界近く なる多年生の常緑草本。 根茎は密に叉状分岐し 色の仮根を密に生じ、ところどころに地上塞を	では岩原生と、、径1-2m、掲
	に生息する。 【世界の分布】 日本固有種。	1 Derry of	は10-40cmである。	
	【生息地の環境/生態的特性】 低山から亜高山の針葉樹林に とされるが (例えば阿部,2000)	まで生息する		
	山城では高山帯のハイマツ林縁 生息する。愛知県内には高山帯	第や岩場にも	ennationec	写真提供: 鈴木武
	やその周辺に生息すると考えら ほとんど情報がない (阿部,2000	すべて山地帯である。県内のミズラモグラは土壌の発達の悪い場所 れている(子安ほか,2001)。生息数が少ないため、生態については り。	国内分布 本州 (宮城、石川県以西の暖地) 、四国、九州	1、沖縄
		けられているにすぎない。もともと生息密度が低い上に、生息域が重 グラという対抗種によって生態的に関じこめられ、個体群が分断さ	県内分布 新宮町、西脇市、高砂市、神戸市、洲本市、南	INTERNAL TOTAL
	れていると考えられる。こうし 単一値生の植林、林道建設やダ	た小個体群は構成圏体数も少なく分布域も後いため、森林の代採、 ム工事などによる環境悪化により小個体群が絶滅したと考えられる。	選定理由	
	提とする必要がある。ダム湖や	その周辺では常に本種の小個体群が絶滅する可能性があることを前 道路整備によって個体群が分断されない対策が必要であるが、生息	人為性 特殊性 学術性	
	地の破壊・分断が予測される場 【特記事項】	合には、回避、低減、代償等のミティゲーションが必要である。	生育環境 特殊 生育環境 特殊 生育 原原 域域 編城 編城 編城 編城 編城 編城 編城 編城 編	
	原田 (1998) によると、ミハ 域) で観察されているというが 豊根村を含めることを留保した。	ラモグラは北設楽部の設楽町(旧設楽区域)と豊根村(旧豊根村区 、標本の所在などの詳雑も知ることができなかったので、分布域に	振 取 境 *** *** *** *** *** *** *** *** ***	A
	【引用文献】 阿部 永, 2000. 日本座哺乳類頭骨図散, 原田褚維男, 1996a, 江乳類, 指贡町史。	270pp. 北海道大学図書刊行会,札幌. 自然: 本文編, pp.508·513. 指流町,愛知県北投楽都指流町.	特配事項 特になし	
	原田湘津男, 1998, 江乳霜, 新編費川市5	自然編』「質料編」, pp.585-593、設楽町、愛和県北設楽都設楽町、 - 第十巻「自然」 資料、pp.186-190、豊川市、豊川 - 現の食魚敷と翼手敷、マンモ・ス等別号、(3): 19·34. - 実登料編 二日然, pp.285-298、大山市、愛知県大山市、		
	【関連文献】	「安養料稿二目態, pp. 235-248. 大山市, 愛知県大山市。 ラモグラの分布。石川県白山自然保護センター研究報告。(25): 25-28.	保護上の留意点 生育地の保全	
	/ L 18 -	ニ カゴックキいナ 2000~	ノ 丘庄 旧 岷 エー・	・ドリスト 2010>
	\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	データブックあいち 2009>	く共熚宗版レン	/ トリヘト ZUIU>
配慮書段階	重要種の有無	と概ねの生息・生育位置がわれ	かる。	
での活用可		に関する記載がある場合もある		ッシュ等で公開されて
能性	おり、詳細な位	置の把握は難しい。		

植物群落レッドデータ・ブック

機関	情報名		概要	情報の特徴
(財)日本自	植物群落レッ		然保護協会と WWF-Japan の	
然保護協会	ドデータ・ブ		行された植物群落を対象と	した
	ック	レッドデータ・		n 4
			素である植物群落そのもの 植物の生息・生育地として	=
			個物の生态・生育地として 守るために植物群落という	
			が必要と考え、緊急に保護	
			物群落」についてリストア	
		した。		
			492 件の「植物群落」がリ	スト
/ <u>_</u>	나는 바느 과상 글로 그 그	アップされた。	E上 レッルル在ホット シェエ	. 10 上 ノ畑 (ウェ /ロ 人 トッ ニ)
作成目的			.,,,,	りまく環境を保全すること
	」である。そのた 」ている。	《》、他物群洛切特	、護を囲して、地域の生態が	を保全することを目的とし
情報内容		要か植物群落の「	リスト。都道府県別のリスト	 、
対象範囲	全国	文:5位77年1107	<u> </u>	0 40 00
公開頻度	1996 年発行			
公開状況	書籍でのみ公開			
得られる		***************************************		[単一群落]
情報の例	群系タイプコード: 01 群系名:マングローブ林		Red List	コード 群系名 件数 03 常緑広葉高木林 122
	群落コード: 01003		【千葉県》	0 5 温帯針葉高木林 8 0 6 冷温帯路薬広葉高木林 1 2
	サキシマ	スオウノ	<データベース件数>	0 9 沿沢林 3 1 2 温帯性先駆木本群落 2 1 3 暖地性先駆木本群落 1
	+群落		「単一群落] [群落複合] チェックシート件数 31 8	1 7 海岸低木林 1 9 林緑性低木・つる植物群落 1
	1 4174		一覧表件数 105 20 複合単位群落件数 34 -	3 2 低層湿原・抵水植物群落 7 3 4 沈水植物群落 1
	Heritiera littoralis con	nmunity	データベース件数 170 28	3 8 海浜草本群落 1 4 2 岩上・岩障草本群落 1
	***************************************		<新たな保護対策の必要性・緊急性> [単一群落] [群落複合] ラン4:緊急に対策必要 0 1	4 7 ススキ・シバ草原 4 9 水辺短命草本群落 5 3 植林 2
		アジア南部、東アフリカ、南	ランク3:対策必要 12 8 ランク2:破壊の危惧 117 18	[群落複合]
	ギリ科の常緑高木である。	亜熱帯域に広く分布するアオ 著しい板根を発達させるのが 原型の真さは2mに適まる	ランク1:要注意 6 1 記入なし 1 0	コード 群落複合タイプ名 件数 01 暖温帯森林植生 7
	また、果実は海流によって	板根の高さは3mに達する。 ご散布される。 別の琉球列島にやや希に自生し、	合計 136 28	0 2 冷・暖温帯移行部森林植生 2 0 6 河辺植生 1 1 1 中間・低層湿原植生 8
	主としてマングローブ群落	ちの後背湿地に群落を形成する 地に小規模な集団や単木で生育		1 2 水生植生 3 1 9 海崖植生 2
	する。群落の生育立地は、	地下水位の高い土壌堆積地で、 バリバナ群落とモザイクをなし		2 0 砂浜植生 4 2 1 塩生湿地植生 1
	て成立している。	高木層は高さ20mに達し、		
		手をなして優占する。 亜高木層 クロヨナ、アダン、コミノク		単一群落
	ロッグなどが生育し、特に は下層で優占することが3	こサガリバナやコミノクロツグ い。		コード No 群落名 7ンケ
		、て保護されているが、群落の れやすく、しかも、材が造船材		03001 12043CS アカガシ群落(八千代市)スダジイ ヤブコウジ群集 2 03029 12008CS シラカシ群落(香取郡下総町) 3
	少ない。特に、群落は西辺	とめに、現存する個体や群落は 長島以外ではきわめて希であり、		03029 12032CS シラカシ群落(柏市) 2 03029 12039 シラカシ群落(鎌ヶ谷市)シラカシ群
	宮古島の下地町と沖縄本島 に過ぎない。	るの国頭村などに残存している	※上記のく新たな保護対策の必要性・緊急性>の単一群 落の項は、群落複合を構成する単位群落として記載さ	集 2 03032 12002 スダジイ群落(銚子市)スダジイ・ヤ
	2. 調查群落數 絕数::	i.	情の現は、特殊後ので情報する年度研究として記載された群落の評価は含まない。	プコウジ群集 2 03032 12004 スダジイ群語(香取郡東庄町) 2 03032 12005 スダジイ群語(小見川・豊玉姫神社) 2
	3. 調査罪落の分布 ①水平分布 24°19′(ネ	(685)~26° 43° N/3biRN	※以下のリストの各群落のNo. のあとのアルファベットは、以下の事項を表す;	03032 12006 スケンイ 計画(パタカー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
		沖縄)~128°07°E(沖縄)	CS: チェックシートに記載された群 落または群落複合 C: 群落複合を構成する単位群落と	03032 12007CS スダジイ群落(香取郡神崎町) 2 03032 12009CS スダジイ群落(香取郡下総町) 2
	③出現都道府県 沖#	1(3)	して記載された群落 アルファベットなし:一覧表に記載された群落または	03032 12010 スダジイ群落(海上郡海上町) 2 03032 12011 スダジイ群落(海上郡海上町)スダジ イ・ヤブコウジ群集 2
	4. 調査群落の面積 最小: 0.02ha(沖縄)~よ	及大: 0.15ha(沖縄)	群落複合	03032 12012 スダジイ群落(香取郡大栄町) 2
	<群落	京説明の例>	<地域別リストの例	列(千葉県)>
配慮書段階				とめ、地域の植物群落が把握
での活用可能性		リストと照合する	ことで保全すべき場所の把	!握に活用できると考えられ
能性	る。			

ガンカモ類の生息調査

機関	情報名		概	要				情報の物	寺徴
環境省	ガンカモ類の 1970年から、我が国に渡来するガンカモ類の ガンカモの越冬場所								
	生息調査	冬期の生息状況							国的に網
		県の協力を得力			-			専門家は	こよる調
		国約 9,000 地		て約4,0	00 人の	協力を得] 査		
		て調査を行って							
調査目的		鳥獣保護区の設							
	の生息状況及び		管理を凶	るべき生	E息地等	について	ての基礎	資料を行	导ること
=m -+ ,kx -+-	を目的としてい	る。							
調査頻度	毎年		*** > + + 10	1= 2-33 =	~ A =m +	· luk	m +- □ -	T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	그라 미디 사수
調査方法		た調査日に、各						が配置し、	
	等を使用した目				と種こと	にカリ	ント		
情報内容	ガン・カモ・ハ			٢					
対象範囲 公開状況	全国の渡来地か					1 /		4 - 4 - 1 - 4 -	1) 17
公用认次	生物多様性情報エクセルによる	_			go. Jp/ ga	ankamo/ (gankamo	_top.nt	111) (_,
得られる	エクビルによる	来可衣が公用で	40 CV.Q	0					
情報の例									
IH TK V I/I		А	Б	U	ן ט	E	F	G]
			1	2	3	4	5	6	
			北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	
	オオハク		3841	2696	3695	11507	1756	1181	
	コハクチ		336	254	166	4385	340	5512	
	アメリカ	コハクチョウ	0	0	0	0	0	7	
	コブハク	7チョウ	0	1	0	1	0	0	
	ハクチョ	ウ類種不明	4	0	15	184	21	44	
	ハクチョウ類合計 4181 2951 3876 16077 2117 6744								
	シジュウカラガン 0 0 0 8 0 0								
	<公開されている集計表>								
	へ 互加 これのこと の 未出 致 ノ								
配慮書段階	ガンカモの越	冬場所について	全国的に	網羅され	れている	が、詳細	田な場所	が明られ	いにされ
での活用可		活用には制約が				• -1 //		. ,,	- , -
能性									

シギ・チドリ類渡来地湿地目録

環境省	機関	情報名		概要	情報の特徴				
類渡来地湿地 自録 シギ・チドリ類が一定基準 以上の調査結果の目録。シギ・チドリ類が一定基準 以上の調査地点を抽出しており、国内の 13 の地 城を重要性の高い地域としている。 「東アジア〜オーストラリア地域におけるシギ・チドリ類に関する湿地ネットワーク」が構築され、シギ・チドリ類の渡来地としての湿地保全の取組が進められる中、1988 年からの調査データの蓄積が進んできたこともあり、目録としてとりまとめられた。 春と秋 (財) 日本鳥類保護連盟に委託して調査・シギ・チドリ類の生息する重要渡来地 全国の渡来地 (財) インス (対) インス (対			1988 年から 1996 :						
目録 祭調査結果の目録。シギ・チドリ類が一定基準 以上の調査地点を抽出しており、国内の13 の地 域を 重要性の高い地域としている。 「東アジア〜オーストラリア地域におけるシギ・チドリ類に関する湿地ネットワーク」が構築され、シギ・チドリ類の渡来地としての湿地保全の取組が進められる中、1988年からの調査データの蓄積が進んできたこともあり、目録としてとりまとめられた。	9K90 G		–						
以上の調査地点を抽出しており、国内の13 の地 いる 域を重要性の高い地域としている。									
「東アジア〜オーストラリア地域におけるシギ・チドリ類に関する湿地ネットワーク」が構築され、シギ・チドリ類の渡来地としての湿地保全の取組が進められる中、1988年からの調査データの蓄積が進んできたこともあり、目録としてとりまとめられた。 調査方法									
### 2 2 2 2 2 2 2 2 2			域を重要性の高い地域	或としている。					
## (財) 日本鳥類保護連盟に委託して調査	作成目的	「東アジア〜	オーストラリア地域に	こおけるシギ・チドリ類に関	引する湿地ネットワー				
調査頻度		ク」が構築され、	シギ・チドリ類の渡来	E地としての湿地保全の取組	が進められる中、1988				
調査方法		年からの調査デ	ータの蓄積が進んでき	たこともあり、目録として	とりまとめられた。				
大学・チドリ類の生息する重要渡来地 全国の渡来地 全国の渡来地 全国の渡来地 環境省の報道発表資料で、目録が公開されている。	調査頻度								
全国の渡来地 環境省の報道発表資料で、目録が公開されている。	調査方法								
 公開状況 環境省の報道発表資料で、目録が公開されている。 http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=993 全国の渡来地から、条件(定期的に 20,000 羽を超える渡り性シギ・チドリ類が利用等)を満たす湿地 73 箇所を目録に登録している。この中から、13 地域については「シギ・チドリ類重要渡来地域」としている。シキ・チドリ類重要渡来地域」としている。シキ・チドリ類重要渡来地域」としている。シキ・チドリ類重要渡来地域	情報内容	シギ・チドリ類	の生息する重要渡来地	1					
## http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=993 ## 全国の渡来地から、条件(定期的に 20,000 羽を超える渡り性シギ・チドリ類が利用 ## 等)を満たす湿地 73 箇所を目録に登録している。 この中から、13 地域については「シギ・チドリ類重要渡来地域」としている。 シギ・チドリ類重要渡来地域」としている。 シギ・チドリ類重要渡来地域」としている。 シギ・チドリ類重要渡来地域 重要漢米地域									
全国の渡来地から、条件(定期的に 20,000 羽を超える渡り性シギ・チドリ類が利用等)を満たす湿地 73 箇所を目録に登録している。この中から、13 地域については「シギ・チドリ類重要渡来地域」としている。シギ・チドリ類重要渡来地域	公開状況								
(情報の例) を満たす湿地 73 箇所を目録に登録している。 この中から、13 地域については「シギ・チドリ類重要渡来地域」としている。 シギ・チドリ類重要渡来地域 重要渡来地域 関係都道県 主 な 湿 地 道東湖沼群 北海道 風蓮湖、コムケ湖、湾沸湖 利根川河口周 茨城県、千葉県 波崎、神穂、矢田部西前宿 辺 東京湾 干葉県、東京都、神奈川県 船橋海浜公園、谷津干潟、小櫃川河口、塩浜、葛西臨海公園、多庫川河口 河北潟周辺 石川県 河北潟、高松海岸 遠州灌海岸 静岡県 太田川河口 伊勢湾/三河 愛知県、三重県 汐川河口、住内川・新川・日光川河口、矢作川河口 湾				_					
この中から、13 地域については「シギ・チドリ類重要渡来地域」としている。 シギ・チドリ類重要渡来地域					ンギ・チドリ類が利用				
シギ・チドリ類重要渡来地域 直要渡来地域 関係都道県 主な湿地 適東湖沼群 北海道 風蓮湖、コムケ湖、湍沸湖 利根川河口周 茨城県、千葉県 波崎、神極、矢田部西前宿 東京湾 干業県、東京都、神奈川県 船槽海浜公園、谷津干潟、小櫃川河口、塩浜、葛西陸海公園、多摩川河口 河北潟周辺 石川県 河北潟、高松海岸 遠州諸海岸 持岡県 太田川河口 伊勢湾/三河湾 愛知県、三重県 汐川河口、庄内川・新川・日光川河口、矢作川河口湾 吉野川河口 電島県 重信川河口 園防灘周辺 山口県、福岡県、大分県 阿知須干拓地、厚狭川河口、曽根干潟、自見川河口、八坂川河口、博多湾 有明海/八代 福岡県、佐賀県、長崎県、新籠、国造干拓、諫早湾、球磨川河口、白川河口、菊池川河口、海池川河口、海水県	情報の例								
重要渡来地域 関係都道県 主 な 湿 地 道東湖沼群 北海道 周蓮湖、コムケ湖、湍沸湖 利根川河口間 茨城県、千葉県 波崎、神栖、矢田部西前宿 辺 東京湾 干葉県、東京都、神奈川県 船橋海浜公園、谷津干潟、小櫃川河口、塩浜、葛西臨海公園、多庫川河口 河北潟、高松海岸		この中から、	13 地域については「ミ	/キ・チドリ類重要 渡来地域	〕としている。				
道東湖沼群 北海道 風蓮湖、コムケ湖、濤沸湖 利根川河口周 茨城県、千葉県 波崎、神栖、矢田部西前宿 東京湾 千葉県、東京都、神奈川県 船橋海浜公園、谷津干潟、小櫃川河口、塩浜、葛西臨海公園、多庫川河口 河北潟周辺 石川県 河北潟、高松海岸 遠州難海岸 太田川河口 伊勢湾/三河 愛知県、三重県 汐川河口、庄内川・新川・日光川河口、矢作川河口 吉野川河口 電信川河口 電信川河口 愛媛県 重信川河口 間防灘周辺 山口県、福岡県、大分県 阿知須干柘地、厚狭川河口、曽根干潟、自見川河口、八坂川河口 博多湾 福岡県 和白干潟、今津干潟 有明海/八代 福岡県、佐賀県、長崎県、 熊本県 新籠、国造干柘、陳早湾、球磨川河口、白川河口、菊池川河口、熊本県			シギ・	チドリ類重要渡来地域					
利根川河口周 茨城県、千葉県 液崎、神栖、矢田部西前宿 液崎、神栖、矢田部西前宿 東京湾 千葉県、東京都、神奈川県 船橋海浜公園、谷津干潟、小櫃川河口、塩浜、葛西臨海公園、多摩川河口 河北潟、高松海岸 海岡県 太田川河口 東加河口、左内川・新川・日光川河口、矢作川河口 海 カリア 東信川河口 東京 和白干潟、今津干潟 有明海/八代 福岡県、佐賀県、長崎県、 新館、国造干拓、諫早湾、球磨川河口、白川河口、菊池川河 和台干潟、今津干潟 和白干潟、今津干潟 和白干潟、球磨川河口、白川河口、菊池川河 東本県 新館、国造干拓、諫早湾、球磨川河口、白川河口、菊池川河 東本県 東本県 大会県 大		重要渡来	地域 関係都道県	主な湿地					
□ 東京湾		道東湖沼	北海道	風蓮湖、コムケ湖、濤沸湖					
図、多摩川河口 河北潟周辺 石川県 河北潟、高松海岸 連州灘海岸 静岡県 太田川河口 伊勢湾/三河 変知県、三重県 汐川河口、庄内川・新川・日光川河口、矢作川河口 湾 宮野川河口 徳島県 吉野川河口 重信川河口 愛媛県 重信川河口 周防灘周辺 山口県、福岡県、大分県 阿知須干拓地、厚狭川河口、曽根干潟、自見川河口、八坂川河口 博多湾 福岡県 和白干潟、今津干潟 有明海/八代 福岡県、佐賀県、長崎県、 新籠、国造干拓、諫早湾、球磨川河口、白川河口、菊池川河 版本県 和			つ周 茨城県、千葉県	波崎、神栖、矢田部西前宿					
遠州灘海岸 静岡県 太田川河口 伊勢湾/三河 愛知県、三重県 汐川河口、庄内川・新川・日光川河口、矢作川河口 湾 宮野川河口 徳島県 吉野川河口 重信川河口 愛媛県 重信川河口 電側原、大分県 阿知須干拓地、厚狭川河口、曽根干潟、自見川河口、八坂川河口 博多湾 福岡県 和白干潟、今津干潟 有明海/八代 福岡県、佐賀県、長崎県、 新籠、国造干拓、諫早湾、球磨川河口、白川河口、菊池川河 版本県 ロー		東京湾	千葉県、東京都、神奈川県		兵、葛西臨海公				
伊勢湾/三河 愛知県、三重県 汐川河口、庄内川・新川・日光川河口、矢作川河口 湾 吉野川河口 徳島県 吉野川河口 電島県 重信川河口 愛媛県 重信川河口 周防灘周辺 山口県、福岡県、大分県 阿知須干拓地、厚狭川河口、曽根干潟、自見川河口、八坂川河口 博多湾 福岡県 和白干潟、今津干潟 有明海/八代 福岡県、佐賀県、長崎県、 新籠、国造干拓、諫早湾、球磨川河口、白川河口、菊池川河 原本県		河北潟周:	四 石川県	河北潟、高松海岸					
湾		遠州灘海	静岡県	太田川河口					
重信川河口 愛媛県 重信川河口 周防灘周辺 山口県、福岡県、大分県 阿知須干拓地、厚狭川河口、曽根干潟、自見川河口、八坂 川河口 博多湾 福岡県 和白干潟、今津干潟 有明海/八代 福岡県、佐賀県、長崎県、 新籠、国造干拓、諫早湾、球磨川河口、カ川河口、 第池川河口 和			三河 愛知県、三重県	汐川河口、庄内川・新川・日光川河口、矢作。	川河口				
周防灘周辺 山口県、福岡県、大分県 阿知須干拓地、厚狭川河口、曽根干潟、自見川河口、八坂川河口 博多湾 福岡県 和白干潟、今津干潟 有明海/八代 福岡県、佐賀県、長崎県、 新籠、国造干拓、諫早湾、球磨川河口、白川河口、菊池川河口 旗木県		吉野川河	徳島県	吉野川河口					
川河口 博多湾 福岡県 和白干潟、今津干潟 和田井潟、今津干潟 和田井潟、佐賀県、長崎県、 新籠、国造干拓、諫早湾、球磨川河口、白川河口、菊池川河口、		重信川河	ロ 愛媛県 重信川河口						
有明海/八代 福岡県、佐賀県、長崎県、		周防灘周:							
海熊本県口		博多湾	福岡県和白干潟、今津干潟						
漫湖 沖縄県									
1970 1970 1970 1970 1970 1970 1970 1970		漫湖	沖縄県	漫湖					
与那覇湾 沖縄県 与那覇湾		与那覇湾	与那覇湾 沖縄県 与那覇湾						
■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	配雷書段階	重要渡来地の押	握に活用することが考	えられる					
での活用可				,,c >40 00					
能性 and a second									

田んぼの生き物調査

機関	情報名	概要		情報の特徴			
農林水産省	田んぼの生き	2005 年から、農村地域 (農		農村地域に限られ			
	もの調査	を対象に、広く国民一般も認		る、一般の方の参加			
		「魚」「カエル」について	その生息状況を把握	による調査である			
田木口仏	LH COZO	する調査を実施している。	日本(みぶ) おい	ジー - 5 体)			
調査目的		K田周辺における「魚・水生 象とした生物相の現状を把握 [、]		コログ寺)」、「ガエ			
		RC した生物値の先択を記録 型の農業農村整備事業推進の	-	レその生息環暗との関			
	係を把握する			こでの工心が死亡の民			
		農業土木技術者等が水田生	態系やその保全に関す	よる意識・知識を向上 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん			
	させるとと	らに、地域住民等に対し、農	業農村の持つ生態系の	R全機能等への理解を			
	促進すること	- 0					
調査頻度	毎年						
調査方法		、水温、水深、底質、水質)					
桂邦古泰		 定置網、カゴ網、タモ網)					
情報内容 対象範囲	全国農村地域	ガエル,外来生物の方布					
公開状況		(http://www.acres.or.jp/	Acres/chousa/main h	tm) 環暗名 HP			
五所がた		aff.go.jp/j/nousin/keityo					
得られる		0 31/3/	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				
情報の例							
	52	er let let let	25° 25' 110'	ar ar			
		もの調査(平成21年度)	田んぼの生きもの調査 平成11~21年度調査	SSA			
	ニホンアマガエル()	26/20/22)	ウシガエル 59メッシュ	NES . 3			
		S.J.: Parisa					
		MICH.		ARB BAS			
	47		si .				
			Marie Control of the				
	×		110	Art a			
		999	EAST	\ x			
		EANS S	ann de	· As			
	207	NORTH OF BEAT	※ 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				
		「	Z.	小笠懸酥袅			
	* # # # #	(日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	が 直接	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
	ARE	*************************************	Z . W.	及21年度に新たに確認 (10 メッシュ) 成21年度と適年度に確認 (2 メッシュ)			
	大 あ W あ を エロA 子を図数	カエル全調査地点(222メッシュ)	# B as B / 42 S as a 1 平 1	成14~20年度に確認 (47 メッシュ) 思されなかった地点 (956 メッシュ)			
		ST 150 M	28"	25			
	図6. 「田んぽの生きもの調査2009」によるニホンアマガエルの確認状況 図17. ウシガエルの確認状況(平成14~21年度)						
	<ニホ	ンアマガエル調査結果>	<ウシガエル経緯	年調査結果>			
	He I I I I I I I I I I I I I I I I I I I) we consider the constant) Mali the section	1 - 1 - 1 - 1			
配慮書段階	農村地域に限ら	れること、調査方法のばらっ)きの可能性等に留意	する必要がある。			
での活用可 能性							
RE II							

昆虫類の多様性保護のための重要地域第 1~3 集

機関	情報名	多様性保護のための重要地域第1~3 集 概要	桂起の杜強
日本昆虫学会	昆虫類の多様	1112	情報の特徴 全国を網羅した
日本比五十云		比出類の生物多様性保護の観点がり歴史とれた重要地域について記載されている。例えば	生国を制維した 情報
	の重要地域第1	第1集では全国53地域について、その範囲、	I I TK
	~3集	地域の概要、選定理由、保護のあり方等が示さ	
	210	れている。	
作成目的	昆虫について	生物多様性の上で重要な地域は、生物全体にとっ	ても重要な地域で
	あるため、地域	指定により、生物多様性の保全の今後の施策・運	動の上で、また、
		で指針になるように作成された。	
指定方法		」の選定は、各地の執筆者に基本的には一任され	ている。選定基準
		ついて述べられている。	
情報内容	昆虫類からみた	重要地域の場所	
対象範囲	全国		
公開状況	冊子での公開。	第1集は、web で冊子をダウンロードできる。	
得られる		昆虫類の多様性保護のための重要地域第1集 掲載地域一覧	
情報の例		of the second se	
		かロベン原野 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	*		
	a a		
		大平山 - 狩礁山	
		大千軒岳・岩部 美々川澤連・ウトナイ準温原 選集大島 職款・整雑招ならびに開切温物	
		着木山・魔衆治ならいに周辺高地	
		和/台地区	
		秋山閣諸島川・魚野川深池城 平川・深空高節カシワ林 軍団 - 深空高節カシワ林 軍団 - 深空高節カシワ林 軍団 - 深元県自然環境深全地域情報地 軍団深谷・東部川地域	
		水見市宮田地区ため池群 前沢温地・須南温地	
		中池見温地・池・河内 久東汎進北の小沢蘭・箱石海岸 東田 東田 東	
		久松山山美	
		出雲砂丘	
	201	東八城県・西八城県 銀田高線 大井川中辺城 東田中辺城 東田市県	
		海加州岛韓 東大海鄉	
	, j	次工平 鈴頭山脈 北接	
	1	類山 京海 京海 東京 東京 東京 東京 東京 東京	
		冷晨是北部中央森科地市	
		/	
		*	
		<指定状況(第1集)>	
		7	
		埼玉県	3
		狭山自	浦和
		然公園	important 1
	1 1	東天和山口千手観音	市 東京都 (~~
	"]	三ツ木	12 1
		村山貯水池	¥
		武藏村山市 (狭山) 神奈	лия 🤇
	*	京都	<u> </u>
		<狭山丘陵の例>	
配慮書段階での	自然環境を保	全する観点から抽出した地域であるため、配慮を	
活用可能性	把握する上で有		D.S. 7 C 7/1/1 C
· ≒ • • • • • • • • • • • • • • • • • •	<u> </u>		

維管束植物レッドリスト種分布データ

機関	情報名		概要	i		情報の特徴		
環境省	維管束植物レ	2 次メッ	シュレベルで、	生物多様性情報	報シス	全国を網羅した	青報	
	ッドリスト種	テムで公開	されている。					
	分布データ		2,10 (1)					
作成目的		全のために、	絶滅のおそれ	のある種を的確	に把握し	、一般への理解	を広	
	めることを目的		,					
情報内容		維管束植物の絶滅危惧種の分布(メッシュ)						
対象範囲								
	全国 ・ 生物多様性情報システム (http://www.biodic.go.jp/cgi-db/gen/RDB_G2000_SY.rdb						11	
公開状況								
			_			うち、乱獲のおそれ		
			いる。メッシ	ュとなっているフ	が、メッ	・シュ区分の地域	名が	
	記載されてい	いるのみ。						
得られる								
情報の例								
111 TK 42 173								
	<u>トップ</u> > <u>継ば危惧種検索</u> >	艳湖色俱種分布情報公開種一覧	维减危惧 瘫分布性	報公開種一覧(408分類群)				
			*GMACDCIECT IN IR	THE ALMINE SEMMONMEN				
	このデータは、植物() これまで、絶滅危惧植	推管束植物) レッドデータブック 物が白生する湿地や草地が間	に掲載された種のなかから、開発行 発された場合に、中には自治体や1	為にさらされやすい湿地や草地の植物® E事関係者が事前に絶滅危惧植物の自	を中心に、種を限定 生に関する情報を知	して分布情報を公開するものです。 0っていれば、開発を回避できたケー		
	スもあります。分布情報 分布情報の公開は、-	を公開することによって、こうし 一方で乱獲のリスクをともないま	に開発が減ることが期待できます。 す。そのため、慎重な検討を経て記	獲のおそれが少な、種を「公開種」とし				
	メッシュに位置するすべ	ての市町村名を挙げてあります	(メッシュ表示からご覧になれます)		14000			
		公開種一覧(全4	08レコード)	公開種メッシュ	ュ一覧(全8,332レ=	1—F)		
		グウンロー			タウンロード			
		1 - 50 件 表示してます。						
	No.	N &	和文	₩ 2	ラッカ	dutte		
	No. 1 5"	科名 グソウ科	和名 ナンゴクデンジンウ	学名 Marsilea crenata	ランク 絶成危惧IA熱 (OR	メッシュ) 表示		
	1 デン2 ヤナ	ジソウ科 H学科	ナンゴクデンジンウ ヒダカミネヤナギ	Marsilea crenata Salix hidakamontana	絶滅危惧IA類(CR 絶滅危惧IA類(CR) 表示) 表示		
	1 デン 2 ヤナ 3 ニレ	ジソウ科 - ギ科 - 科	ナンゴクデンジソウ ヒダカミネヤナギ サキシマエノキ	Marsilea crenata Salix hidakamontana Celtis biondii var. insularis	絶滅危惧IA類(GR 絶滅危惧IA類(GR 絶滅危惧IA類(GR	表示 3 表示 5 表示		
	1 72 2 17 3 =u 4 17	ジソウ科 - 中科 - 科 クサ科	ナンゴクデンジソウ ヒダカジネヤナギ サキシマエノキ アマミサンショウソウ	Marsilea crenata Salix hidakamontana Celtis biondii var. insularis Elatostema oshimense	絶成危惧IA類(CR 絶滅危惧IA類(CR 絶滅危惧IA類(CR 絶滅危惧IA類(CR	D 表示 D 表示 D 表示		
	1 5°2 2 177 3 = U 4 479 5 479	ジソウ科 - 宇科 - 科 - わ - クサ科 - クサ科	ナンゴクデンジンウ 上ダカミネヤナギ サキシマエノキ アマミサンショウンウ チョクザキミズ	Marsiles crenata Salic hidakamontana Celtis biondii var. insularis Elatostema oshimense Lecanthus peduncularis	絶滅危惧IA類(CR 絶滅危惧IA類(CR 絶滅危惧IA類(CR 絶滅危惧IA類(CR 絶滅危惧IA類(CR	5 表示 5 表示 6 表示 6 表示 6 表示		
	1 5°2 2 177 3 = U 4 479 5 479	ジソウ科 부科 - 취 - クサ科 - クサ科 - クサ科	ナンゴクデンジソウ ヒダカジネヤナギ サキシマエノキ アマミサンショウソウ	Marsilea crenata Salic hidakamontana Celtis biordii var insularis Elatostema oshimense Lecanthus paduncularis Pilea sohayakiensis	絶成危惧IA類(CR 絶滅危惧IA類(CR 絶滅危惧IA類(CR 絶滅危惧IA類(CR	20 表示 20 表示 20 表示 20 表示 20 表示 20 表示		
	1 7°2 2 177 3 Eu 4 475 5 475 6 475	ジソウ科 ・ ド科 科 クサ科 クサ科 クサ科 クサ科	ナンゴクデンジンウ ヒダカミネヤナギ サキシマエンキ アマミサンショウンウ チョクザキミズ ンハヤキミズ	Marsiles crenata Salic hidakamontana Celtis biondii var. insularis Elatostema oshimense Lecanthus peduncularis	絕成危惧IA類(CR 絕成危惧IA類(CR 絕域危惧IA類(CR 絕域危惧IA類(CR 絕域危惧IA類(CR 絕域危惧IA類(CR 絕域危惧IA類(CR 絕域危惧IA類(CR	20 表示 20 表示 20 表示 20 表示 20 表示 20 表示 20 表示 20 表示		
	1 7°2 2 1°7 3 == L 4 4°7 5 1°7 6 1°7 7 5°7 8 5°7	ジソウ科 ・ ド科 科 クサ科 クサ科 クサ科 クサ科	ナンゴクデンジンウ ヒダカミネヤナギ サキシマエノキ アマミサンショウンウ チョクザキミズ ソハヤキミズ ナンプ・ラノオ	Marsilea crenata Salic hidakamontana Celtis biordii var insularis Elatostema oshimense Lecanthus peduncularis Pilea sohayakiensis Bistorta hayachinensis	絕成危惧IA類(CR 絕成危惧IA類(CR 絕域危惧IA類(CR 絕域危惧IA類(CR 絕域危惧IA類(CR 絕域危惧IA類(CR 絕域危惧IA類(CR 絕域危惧IA類(CR	20		
	1 5°2 2 1°7 3 1°2 4 1°7 5 1°7 6 1°7 7 5°7 8 5°7 9 5°7 9 5°7 10 5°7	デンパウ科 ・ 平科 科 クサ科 クサ科 ウサ科 科 利 人・ 科 ノ・ ナ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ナンゴクデンジソウ とダカジネヤナギ サキシマエンオ アマミサンショウソウ チョケザキミズ ナンプ・ランオ キブネダイオウ シナクスモドキ オキナワニウバシ	Marsilea crenata Salir hidakamontana Celtis biondi var insularis Elatostama ochimense Lecanthus peduncularis Pilea sohayahisnois Batorta hayachimensis Fumex repalensis var andreseanus	能成告售IA縣(CR 能成合售IA縣(CR 能成合售IA縣(CR 能成合售IA縣(CR 能成合售IA縣(CR 能成合售IA縣(CR 能成合售IA縣(CR 能成合售IA縣(CR 能成合售IA縣(CR 能成合售IA縣(CR	カー 表示 カー 表 カー 表 カ		
	1 5°2 2 1°7 3 == 1.0 4 4°5 5 4°5 6 4°5 7 5°7 8 5°7 8 5°7 9 5°7 10 5°7 11 1°7	デンプウ料 ・ 平料 科 クサ料 クサ料 クサ料 科 科 科 科 科 科 科 / 中科 / 一 中科 / 一 中科	ナンコクデンジソウ とダカジネヤナギ サキシマエノキ アマミサンショウンウ チョンザキミズ ソハ・ヤキミズ ナンプトラノオ キブネダイオウ シナクスモドキ オキナワコウバシ とがイカモ	Marsilea crenata Salic hidakamontana Celtis biordii var insularis Elatostoma oshimense Lecanthus peduncularis Pilea sohayakiarnis Bistorta hayachinensis Rumex negalanisi var andreaeanus Cryptocarya chinensis	能成色傳A數(CR 能成色傳A數(CR 能成像傳A類(CR 能成像傳A類(CR 能成像傳A類(CR 能成像傳A類(CR 能成色傳A類(CR 能成色傳A類(CR 能成色傳A類(CR 能成色傳A類(CR 能成色傳A類(CR 能成色傳A類(CR	20 表示 20 表示 2		
	1 572 2 177 3 = L 4 179 5 179 6 179 7 95 8 189 9 572 10 272 11 172 12 172	·····································	ナンゴクデンジンウ とが記ネヤナギ サキンマエルキ アマミサンショウンウ チョウザキミズ ナントランオ キブネダイオウ シナクスモドキ オキナフコウィシ とがくアナランド クモマキンボウゲ	Marsilea crenata Salis hidakamontana Celtis biondii var insularis Elatostema oshimense Lecanthus peduncularis Pilea sohayakismisi Bistorta hayachinensis Rumex nepalansis var andreaeanus Cryptocarya chinensis Lindera communis var okinavensis Ranunculus kadzusensis Panunculus pygmaeus	能成性期A對(CR 产成性期A對(CR 产业依例A對(CR 产业依例A到(CR 产业依例A到(CR 产业依例A到(CR 产业依例A到(CR 产业依例A到(CR 产业依例A到(CR 产业依例A到(CR 产业依例A到(CR 产业依例A到(CR 产业依例A到(CR 产业依例A到(CR	20		
	1 572 2 177 3 174 4 479 6 479 6 479 7 957 8 557 9 572 10 572 11 152 12 17	ジソウ科 平科 科 クサ科 クサ科 クサ科 科 ノキ科 ノキ科 ノキ科 ボウザ科 ボウザ科	ナンゴクデンジンウ と ダカジネヤナギ サオシマエンオ アマミサンショウンク チョケザキミズ ナンプ・ランオ キブネダイオウ シナクスモドキ オキナウコウ・バン とがくバカモ クモマキンパウゲ 幼カネキンボウゲ	Marsilea crenata Salis hidakamontana Cultis biondi var insularis Elatostemia oshimense Lacanthus peduncularis Pilea sohayakiensis Bistorta hayachiensis Rumex nepalensis var. andreaeanus Cryptocarya chinensis Lindera communis var okinawensis Fanunculus kadzusensis	自由成合関は条約(CR 申組成合関は条列(CR 申組成合関は各列(CR 申組成合関は各列(CR 申組成合関は各列(CR 申組成合関は各列(CR 申組成合関は各列(CR 申組成合関は各列(CR 申組成合関は各列(CR 申組成合関は各列(CR 申組成合関は各列(CR 申組成合関は各列(CR 申組成合関は各列(CR 申組成合関は各列(CR	カー 表示		
	1 572 2 177 3 174 4 479 6 479 6 479 7 957 8 557 9 572 10 572 11 152 12 17	·····································	ナンゴクデンジンウ とが記ネヤナギ サキンマエルキ アマミサンショウンウ チョウザキミズ ナントランオ キブネダイオウ シナクスモドキ オキナフコウィシ とがくアナランド クモマキンボウゲ	Marsilea crenata Salis hidakamontana Celtis biondii var insularis Elatostema oshimense Lecanthus peduncularis Pilea sohayakismisi Bistorta hayachinensis Rumex nepalansis var andreaeanus Cryptocarya chinensis Lindera communis var okinavensis Ranunculus kadzusensis Panunculus pygmaeus	能成性期A對(CR 产成性期A對(CR 产业依例A對(CR 产业依例A到(CR 产业依例A到(CR 产业依例A到(CR 产业依例A到(CR 产业依例A到(CR 产业依例A到(CR 产业依例A到(CR 产业依例A到(CR 产业依例A到(CR 产业依例A到(CR 产业依例A到(CR	カー 表示		
	1 572 2 177 3 174 4 479 6 479 6 479 7 957 8 557 9 572 10 572 11 152 12 17	ジソウ科 平科 科 クサ科 クサ科 クサ科 科 ノキ科 ノキ科 ノキ科 ボウザ科 ボウザ科	ナンゴクデンジック と ダルミネヤナギ サキシマエルキ アマミサンショウンク) デョグザキミズ ナンア・ラノオ キブネダイオウ シナクスモドキ オキナワコウパシ ヒンダイがた クモマキンボウゲ タのネキンボウゲ ケードキャサナ車	Marsilea crenata Salis hidakamontana Celtis biordi var insularis Elatostema oshimense Lecanthus peduncularis Plea oshayalsinnis Bistorta hayachinensis Rumex repalansis var andreaeanus Crystocarya chinensis Lindera communis var okinawensis Ranunculus kadzusensis Ranunculus sudjahureus Ranunculus sudjahureus Ranunculus sudjahureus	自由成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR	カー 表示		
	1 572 2 177 3 174 4 479 6 479 6 479 7 957 8 557 9 572 10 572 11 152 12 17	ジソウ科 平科 科 クサ科 クサ科 クサ科 科 ノキ科 ノキ科 ノキ科 ボウザ科 ボウザ科	ナンゴクデンジック と ダルミネヤナギ サキシマエルキ アマミサンショウンク) デョグザキミズ ナンア・ラノオ キブネダイオウ シナクスモドキ オキナワコウパシ ヒンダイがた クモマキンボウゲ タのネキンボウゲ ケードキャサナ車	Marsilea crenata Salis hidakamontana Celtis biondii var insularis Elatostema oshimense Lecanthus peduncularis Pilea sohayakismisi Bistorta hayachinensis Rumex nepalansis var andreaeanus Cryptocarya chinensis Lindera communis var okinavensis Ranunculus kadzusensis Panunculus pygmaeus	自由成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR	カー 表示		
	1 572 2 177 3 174 4 479 6 479 6 479 7 957 8 557 9 572 10 572 11 152 12 17	ジソウ科 平科 科 クサ科 クサ科 クサ科 科 ノキ科 ノキ科 ノキ科 ボウザ科 ボウザ科	ナンゴクデンジック と ダルミネヤナギ サキシマエルキ アマミサンショウンク) デョグザキミズ ナンア・ラノオ キブネダイオウ シナクスモドキ オキナワコウパシ ヒンダイがた クモマキンボウゲ タのネキンボウゲ ケードキャサナ車	Marsilea crenata Salis hidakamontana Celtis biordi var insularis Elatostema oshimense Lecanthus peduncularis Plea oshayalsinnis Bistorta hayachinensis Rumex repalansis var andreaeanus Crystocarya chinensis Lindera communis var okinawensis Ranunculus kadzusensis Ranunculus sudjahureus Ranunculus sudjahureus Ranunculus sudjahureus	自由成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR	カー 表示		
	1 572 2 177 3 174 4 479 6 479 6 479 7 957 8 557 9 572 10 572 11 152 12 17	ジソウ科 平科 科 クサ科 クサ科 クサ科 科 ノキ科 ノキ科 ノキ科 ボウザ科 ボウザ科	ナンゴクデンジック と ダルミネヤナギ サキシマエルキ アマミサンショウンク) デョグザキミズ ナンア・ラノオ キブネダイオウ シナクスモドキ オキナワコウパシ ヒンダイがた クモマキンボウゲ タのネキンボウゲ ケードキャサナ車	Marsilea crenata Salis hidakamontana Celtis biordi var insularis Elatostema oshimense Lecanthus peduncularis Plea oshayalsinnis Bistorta hayachinensis Rumex repalansis var andreaeanus Crystocarya chinensis Lindera communis var okinawensis Ranunculus kadzusensis Ranunculus sudjahureus Ranunculus sudjahureus Ranunculus sudjahureus	自由成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR 申組成合関は4時(CR	カー 表示		
配富書段階	1 572 2 177 3 = 124 4 479 5 479 6 479 7 857 8 557 9 572 10 572 11 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 1	ジソウ科 平科 科 クサ科 クサ科 ラサ科 科 グト科 グト科 グト科 ボウブ科 ボウブ科 ボウブ科	ナンコクデンジック と 別たネヤナギ サキシマエノキ アマミサンショウンウ チョケザキミズ ナン ホランオ キブネダイオウ シナクスモドキ オキナワコウバシ とがくがた クモマキンボウゲ ケードキャルボウゲ ケードキャルサカギ ケード・	Marsilea crenata Salic hidakamontana Celtis biondi var insularis Elatostema ochimense Lecanthus peduncularis Pilea sorbayakiensis Bistorta hayachinensis Rumec nepalansis var andreaeanus Cryptocarya chinensis Lindera communis var okinawensis Rannaculus kadzusensis Rannaculus pugmaeus Rannaculus suduntus sudi	的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的成在例如的(CR 的成在例如的(CR 的成在例如的(CR 的成在例如的(CR 的成在例如的(CR 的成在例如的(CR		s/t	
配慮書段階	1 デン 2 ヤナ 3 二 4 イラ 5 イラ 6 イラ 7 かデ 8 ケデ 9 クス 10 クス 11 キン 13 キン 14 シンコ	ジソウ科 ・平科 科 タクサ科 クサ科 クサ科 科 科 科 科 科 オ 科 科 ス 八 科 ス 八 科 ス ク イ 科 ス ク イ ス ク イ ス イ ス イ ス イ ス イ ス イ ス イ ス イ	ナンコクデンジット と対応ネヤナギ サキシマエルキ アマミサンショウンウ デョグザキミズ ナンホラノオ キフォタイオウ シナクスモドキ オキナワコウバシ ヒメイバカモ クモマキンボウゲ タのネキンボウゲ ターガシャリナル ケーダントウス のデータのたる	Marsilea crenata Salic hidakamontana Celtis biondi var insularis Elatostema ochimense Lecanthus peduncularis Pilea sorbayakiensis Bistorta hayachinensis Rumec nepalansis var andreaeanus Cryptocarya chinensis Lindera communis var okinawensis Rannaculus kadzusensis Rannaculus pugmaeus Rannaculus suduntus sudi	的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的成在例如的(CR 的成在例如的(CR 的成在例如的(CR 的成在例如的(CR 的成在例如的(CR 的成在例如的(CR	カー 表示	がは、	
配慮書段階での活用可	1 572 2 177 3 = 124 4 479 5 479 6 479 7 857 8 557 9 572 10 572 11 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 1	ジソウ科 ・平科 科 タクサ科 クサ科 クサ科 科 科 科 科 科 オ 科 科 ス 八 科 ス 八 科 ス ク イ 科 ス ク イ ス ク イ ス イ ス イ ス イ ス イ ス イ ス イ ス イ	ナンコクデンジット と対応ネヤナギ サキシマエルキ アマミサンショウンウ デョグザキミズ ナンホラノオ キフォタイオウ シナクスモドキ オキナワコウバシ ヒメイバカモ クモマキンボウゲ タのネキンボウゲ ターガシャリナル ケーダントウス のデータのたる	Marsilea crenata Salic hidakamontana Celtis biondi var insularis Elatostema ochimense Lecanthus peduncularis Pilea sorbayakiensis Bistorta hayachinensis Rumec nepalansis var andreaeanus Cryptocarya chinensis Lindera communis var okinawensis Rannaculus kadzusensis Rannaculus pugmaeus Rannaculus suduntus sudi	的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的成在例如的(CR 的成在例如的(CR 的成在例如的(CR 的成在例如的(CR 的成在例如的(CR 的成在例如的(CR		ぎは、	
	1 デン 2 ヤナ 3 二 4 イラ 5 イラ 6 イラ 7 かデ 8 ケデ 9 クス 10 クス 11 キン 13 キン 14 シンコ	ジソウ科 ・平科 科 タクサ科 クサ科 クサ科 科 科 科 科 科 オ 科 科 ス 八 科 ス 八 科 ス ク イ 科 ス ク イ ス ク イ ス イ ス イ ス イ ス イ ス イ ス イ ス イ	ナンコクデンジット と対応ネヤナギ サキシマエルキ アマミサンショウンウ デョグザキミズ ナンホラノオ キブネタイオウ シナクスモドキ オキナワコウバシ ヒがイガモ クモマキンボウゲ タのネキンボウゲ ターガシャリナル ケーダントウス のデータのたる	Marsilea crenata Salic hidakamontana Celtis biondi var insularis Elatostema ochimense Lecanthus peduncularis Pilea sorbayakiensis Bistorta hayachinensis Rumec nepalansis var andreaeanus Cryptocarya chinensis Lindera communis var okinawensis Rannaculus kadzusensis Rannaculus pugmaeus Rannaculus suduntus sudi	的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的现在例如的(CR 的成在例如的(CR 的成在例如的(CR 的成在例如的(CR 的成在例如的(CR 的成在例如的(CR 的成在例如的(CR		がは、	

植物誌

機関	情報名	概要	情報の特徴		
都道府県	植物誌	ある地域の植物の総目録。分布図を作成して	—————————————————————————————————————		
IP/E/11/11	IN IN BU	いる自治体もある。(例:神奈川県)			
作成目的	ある地域の植	物(維管束植物)の分布・生態等を記録したもので	で、「健全な生態系の		
		植物相の保持」を目的としている。	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
調査方法		は、文献調査・現地調査を、市民参加で実施してい	いる。		
情報内容	植物(維管束植物)の種ごとの分布・生態				
対象範囲	都道府県や市町村等の自治体単位				
公開状況	書籍にて販売				
得られる情報の例		5cm	5mm		

配慮書段階 での活用可 能性		県では分布図も入れて作成されており、活用が期待 地域に限られると考えられる。	寺できる面があるが、		

日本の地形 RDB

機関	情報名	概要	情報の特徴			
民間	日本の地形	「日本の地形レッドデータブック作成委員	全国を網羅した情報			
	RDB					
		たは地図を用い、個別に特性や現状などについ				
, b =	- 1 1 15 15 3	て簡潔に解説されている。				
作成目的	日本の自然を代表する優れた地形でありながら、現在、破壊の進みつつある地形、あ					
		破壊の危機にある地形を抽出し、何らかの保護策を提言することを目的としてい				
調査方法	る。("日本の地形レッドデータブックの作成"より引用)					
- 調宜力法	現地調査とアンケート調査により、各地方ごとの「既に破壊されてしまった地形、破壊の恐れのある地形」を抽出し、各地方ごとの"日本の地形レッドデータブック作成委					
		^{塩房」を抽出し、各地ガニとの 日本の地形レッ} 査結果のとりまとめを行う。	トノータノック作成安			
情報内容	重要な地形の分					
対象範囲	全国	1111				
公開状況						
		日本の野球電路の一プログト ルー をファントMARP型(モルギーモルル)				
		日本の地形				
		レット、データフ、ック				
		第1集				
	小泉 武策・資本 賀人 福					
	1994					
		* 0				
		日本の地形レッドデータブック 内点を見る				
		176240				
		<書籍のみの公開>				
配慮書段階	全国の重要な	地形が網羅されており、改変に対する注意を要する	る場所を把握する上で			
での活用可	の活用が考えら					
能性						

生物多様性ポテンシャルマップ(生息適地図)

±≤≤ 目目	桂起夕		/ (主总週地区)		
機関 愛知県	情報名 生物多様性ポ	概要 愛知県で作成された「あ	いたの片脚々洋州ユ	情報の特徴 現在のところ、愛知	
多 和宗	エ物多様性が	テンシャル気づく・まもる		現代のところ、愛和 県のみで作成	
	ップ(生息適	は、生物が実際に生息してい	- · · · · - · ·		
	ソフ (王心週 地図)	生息しやすいと考えられる			
	地区)	基づいて抽出した生息適地			
	用化することを目的とした日本初のマップであ				
作成目的					
1F及日的	開発によって分断され、孤立した自然環境をつなげることによって生態系の保全・再				
	生を図る<生態系ネットワーク>を、県内全域において進めていくためのグランドデザー イントなることを目的 k l ている (http://www.ppof.gighi.ip/0000025714 html - t				
	インとなることを目的としている。(http://www.pref.aichi.jp/0000035714.html より引用)				
情報内容			自新(サゼ粨 コ)	ンゴイ カエ粨 (ラガ	
用拟约台		カ、サシバ、クマタカ、シ			
		ガ、リンパ、クマクガ、ファ 両生類(アカガエル類), 魚類			
		デエ頬 (アススエル頬) , 点 デラサキ) の生息適地図	類(アー・ソフィア)	七五規(止水圧/11/17	
対象範囲	愛知県	ノッコノ ツエ心側地区			
<u>対象</u> 配囲 頻度	平成 22 年度作品	æ			
作成方法		x 日本生態系協会の HSI モデル	しかどを用いて	筆の生自可能性 (ポテ	
11八八八	ンシャル)を解		/ はこで用(' (、1日/示/	単の工心 引配圧 (が)	
公開状況		者に無償配布している。			
得られる	首相として加主	石で深度配用している。			
情報の例	学校や公園	類のポテンシャルマップ ・ 造・湖から500m圏 ・ 温から500m圏 ・ は温から500m圏 ・ はれから50m圏 ・ はれから50mの ・ はれか	が大すると・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を強きからのの個別を対している。 を対しらのの個別を対している。 を対したのでは、できない。 を対したのでは、できない。 を対したのでは、できない。 を対したのでは、できない。 を対している。 ・ できない。 ・ できな	
配慮書段階 での活用可 能性	愛知県で先行ある。	的に検討された状況であるな	が、今後の展開・活用7	が注目されるツールで	